

取扱説明書

HITACHI
— 品質を大切に (技術の日立) —

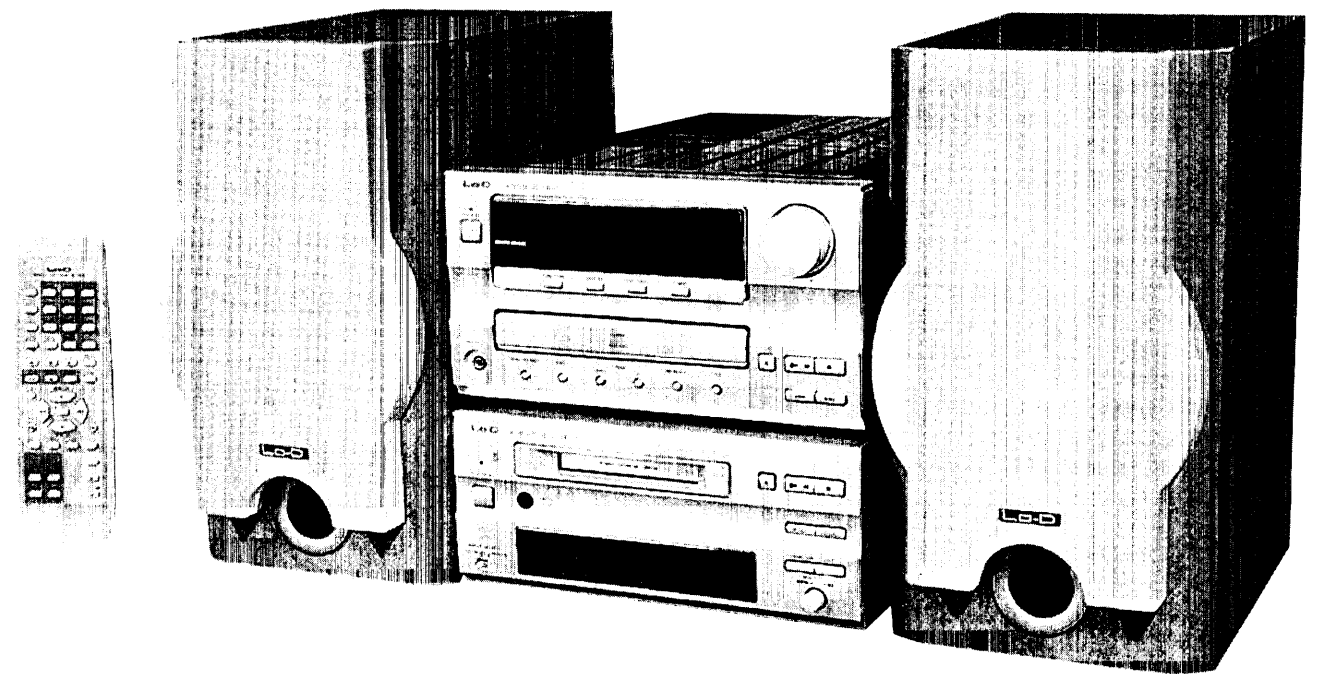
日立MD/CDステレオシステム AX-F100形

このたびは、日立MD/CDステレオシステムをお求めいただき、まことにありがとうございました。
この「取扱説明書」と「取扱説明書別冊」をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
なお、お読みになった後は保証書、ご相談窓口一覧表と共にいつでも見られる所に大切に保管してください。

Lo-D

**Mini
Disc**

**COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO**



お客様メモ：サービスを依頼される時、お役に立ちます。

購入店名： _____ 電話 _____

ご購入年月日：平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日

—メモ—

 株式会社 日立製作所

〒105-8430 東京都港区西新橋2-15-12
TEL (03)3502-2111

QR45385

はじめに

MD(ミニディスク)について	3,4
コンパクトディスクについて	5
接続のしかた	6,7
各部の名称(CDレコーダー部、MDレコーダー部)	8,9
各部の名称(リモコン)	10
リモコンについて	11
操作をする前に	12,13
・操作方法の見方	
・オートファンクション機能について	
・ヘッドホンでお聴きになるときは	
節電機能の使いかた(エコモード)	14
音量・音質の調整のしかた	15
音を一時的に消す(消音)には(ミュート)	15
現在時刻の合わせかた	16

放送受信

ラジオを聴く	17
放送局をプリセットする	18
FM放送局を自動でプリセットするには(オートプリセット)	19
放送局に名前をつける	20

CD演奏

CDを聴く	21
CD演奏の便利な使いかた	22,23
・ダイレクト選曲	
・再生時間表示モード	
・スキップ選曲	
・マニュアルサーチ	
CDを繰り返して演奏する(リピートプレイ)	24
CDの曲を順不同に演奏する(ランダムプレイ)	24
好きな曲を選び好きな順番で演奏するには(プログラムプレイ)	25
CDエディット録音	26,27

MD演奏

MDを聴く	28
MD演奏の便利な使いかた	29
MDを繰り返して演奏する(リピートプレイ)	30
MDを順不同に演奏する(ランダムプレイ)	30
好きな曲を選び好きな順番で演奏するには(プログラムプレイ)	31

録音D

MDに手動で録音する(マニュアル録音)	32
ワンタッチでCDからMDへ録音する(SRSシンクロ録音)	33

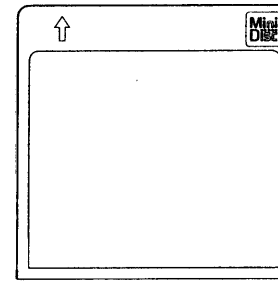
MD編集

MDに名前をつける	34,35
MDの名前を消去する	35
曲に名前をつける	36
曲の名前を消去する	37
MDの名前と曲の名前を全て消去する	37
曲を消去する(イレース)	38~40
曲を移動する(ムーブ)	41
曲を並べ替える(プログラムムーブ)	42
曲を分割する(ディバイド)	43
曲をつなげる(コンバイン)	44
直前のMD編集を取り消す(アンドゥ)	45
表示メッセージ	46

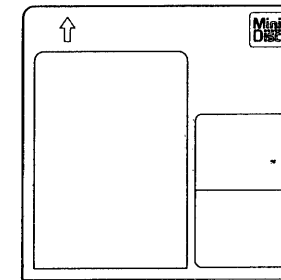
その他

タイマー再生/録音のしかた	47~50
スリープタイマーの使いかた	51
外部機器の音を聞く	52
・アナログ入力の音を聴くには	
・デジタル入力の音を聴くには	
仕様	53,54
故障かな?と考える前に	55
保証とアフターサービス(必ずお読みください)	56
著作権について	57

1 MDには2つのタイプがあります。

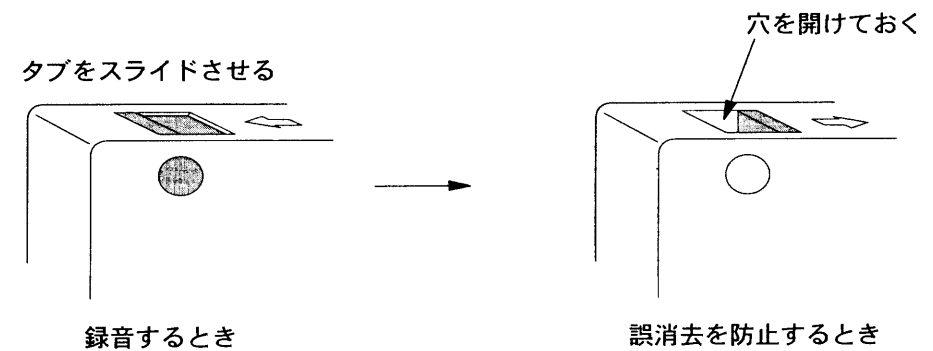


再生専用

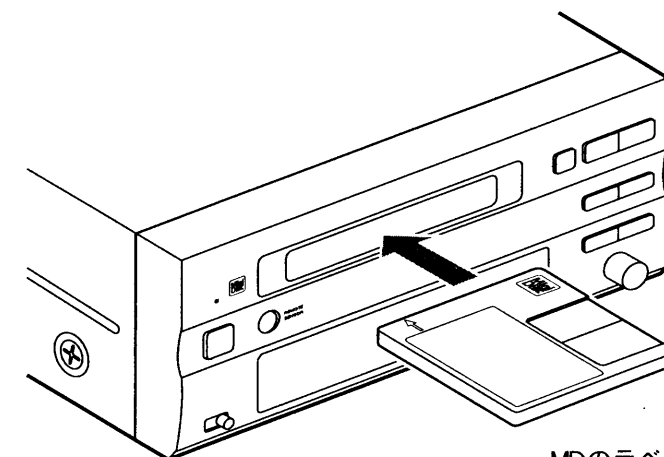


録音可能

2 録音した内容を保護するには



3 MDの入れかた



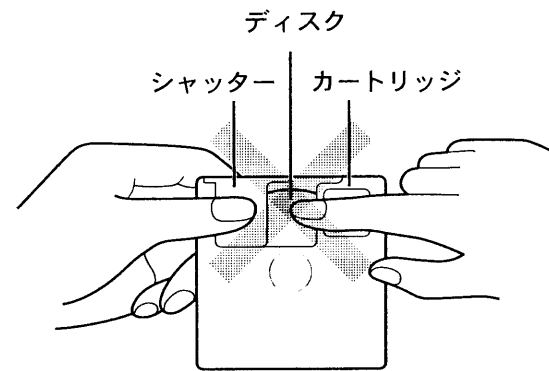
MDのラベル面を上にして、矢印を挿入口に向ける

4 MDの取扱いと保管

MD自体はカートリッジに収納されていますので、ほこり・キズ・指紋などがつきにくく手軽に取扱えるようになっています。ただし、カートリッジのすき間から入る砂ほこりやカートリッジのよごれやそりなどが誤動作の原因になることもあります。いつまでも美しい音で楽しめるように次のことに注意してください。

ディスクに直接触れない

- シャッターを手で開けて、ディスクに直接触れないでください。
- シャッターは無理に開けるとこわれます。



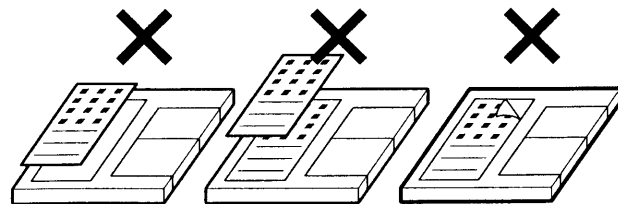
MDの保管について

必ず専用ケースに入れて保管してください。
直射日光の当たる所、暖房器具の近くなど温度が高くなる所や湿度の高い所には置かないでください。
また、砂浜などカートリッジの中に砂やほこりが入りやすい場所には放置しないでください。

5 MDにラベルを貼り付けるときのご注意

MDカートリッジにラベルを貼り付けるときは、必ず次のことをお守りください。
正しく貼り付けないと、MDが内部につまって取出せなくなることがあります。

- ラベルは指定の場所(エリア内)に正しく貼ってください。
(指定エリア以外には貼り付けしないでください。)
- ラベルを重ねて貼り付けしないでください。
- ラベルがめくれたり、浮いたりしているときは、新しいラベルに貼り換えて使用してください。



6 MDのお手入れ

カートリッジ表面についたほこりやゴミを乾いた柔らかい布でふきとってください。
シンナーやベンジン、スプレー・静電防止剤などは絶対に使用しないでください。



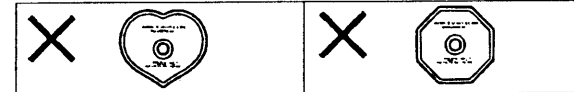
本機のCDプレーヤーで演奏できるディスクは、左記のマークがついているものです。

■ディスクの取出しかた

- ① 右手で左右を持ち、左手で上下を持ってフタを開けます。
- ② センターホルダーを押さえながらディスクを持ち上げます。
- ③ ディスクの縁を持ち、表面に触れないように扱ってください。

■ディスクについてのご注意

- コンパクトディスクにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、剥がした痕があるものはお使いにならないでください。そのままCDプレーヤーにかけると、コンパクトディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。
- ディスクレーベル面に~~CD~~のマークが入ったものなど、JIS規格に合致したものをご使用ください。
- ハート型や八角形など、特殊形状のディスクは使用しないでください。機器の故障の原因となることがあります。



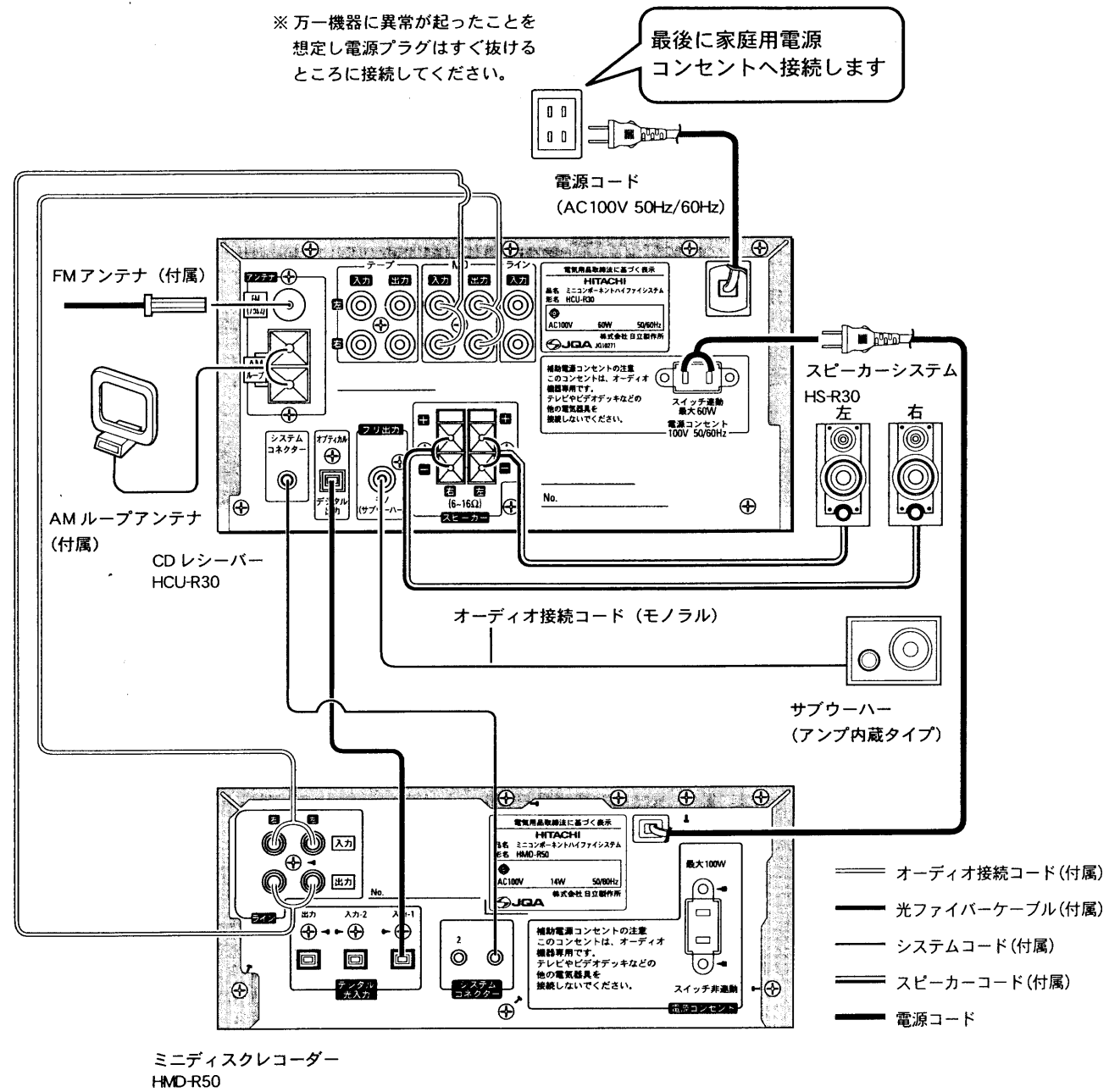
取り扱いについて

- 指紋、油、ゴミなどをつけないでください。汚れた場合は、乾いた柔らかい布で内側から外側に向けてふいてください。
- 熱を加えないでください。
- 曲げたりしないでください。
- 表面に傷をつけないように、特にケースからの出し入れには注意してください。
- 中心の穴を大きくしないでください。
- レーベル面(印刷面)にボールペンや鉛筆などで文字を書かないでください。
- ベンジン、シンナー、水、レコードスプレー、静電防止剤、シリコンクロスなどでふかないでください。
- 屋外などの寒い場所から急に暖かい場所へ移すと、表面に水滴がついて演奏できないことがあります。このときは、乾いた柔らかい布で水滴をふいて乾燥させてから使用してください。なお、水滴はヘアードライヤー等で乾かさなくてください。

保管について

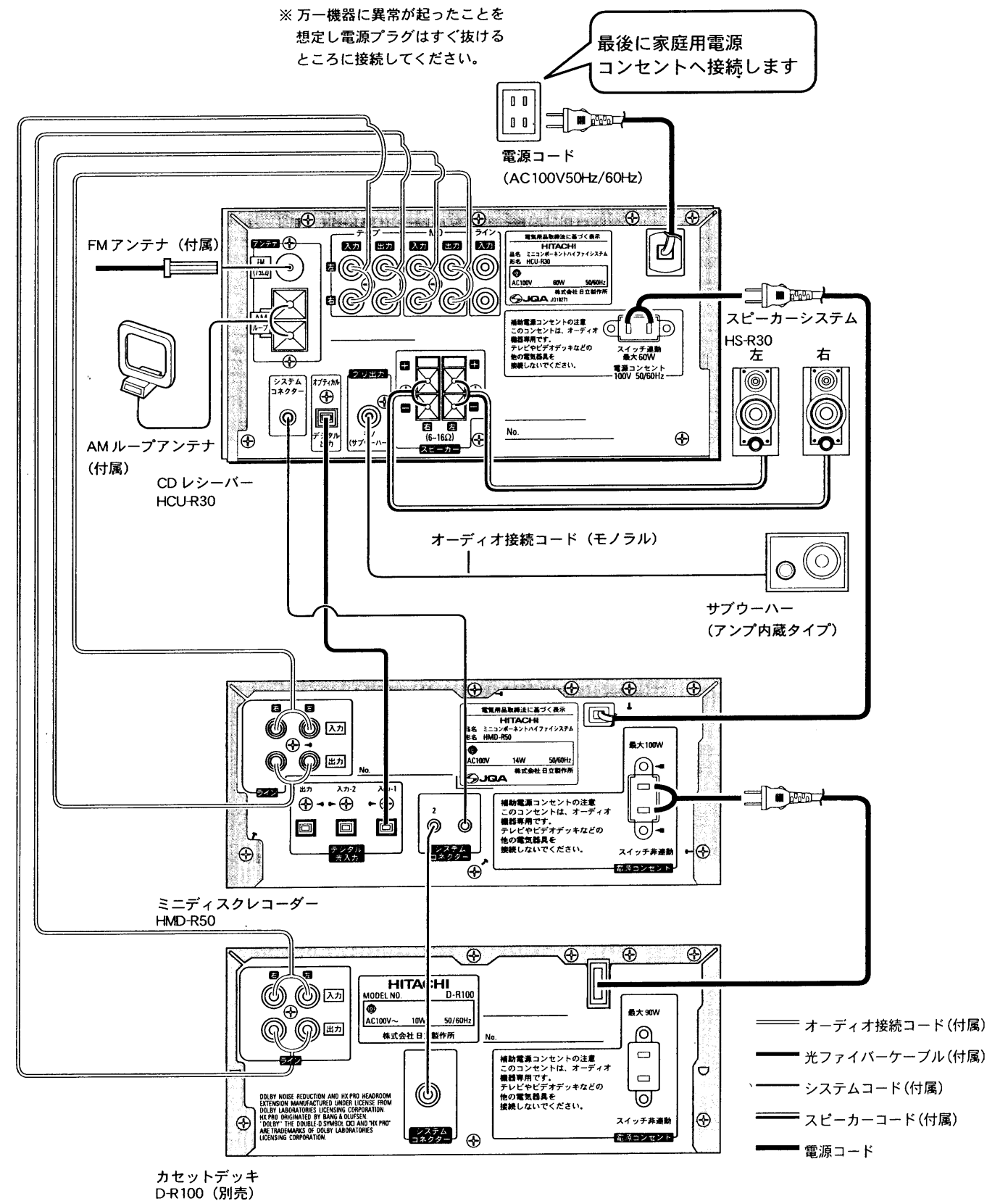
- 長期間本機を使用しないときは、必ずディスクを本機から取り出してください。
- ほこり、傷、変形などを避けるため、必ずケースに入れて保管してください。
- 次のような場所には置かないでください。ディスクに反りなどが生じて、演奏できなくなることがあります。
 1. 直射日光が長時間あたる所。
 2. 湿気、ほこりなどが多い所。
 3. 暖房器具などの熱が当たる所。

接続のしかた



- 注意**
- 本機をテレビやその他のオーディオ機器の近くに設置すると、雑音が生じることがあります。その場合は、機器や接続コードの位置を変えてみてください。
 - 接続コード(ピンプラグコード)を電源コードのそばに置くと、ハム雑音などのノイズが発生することがあります。
 - 本機のスピーカーシステムは防磁設計となっており、テレビとの近接使用が可能ですが、設置のしかたによっては色ムラが生じる場合があります。その場合はスピーカーを離してご使用ください。

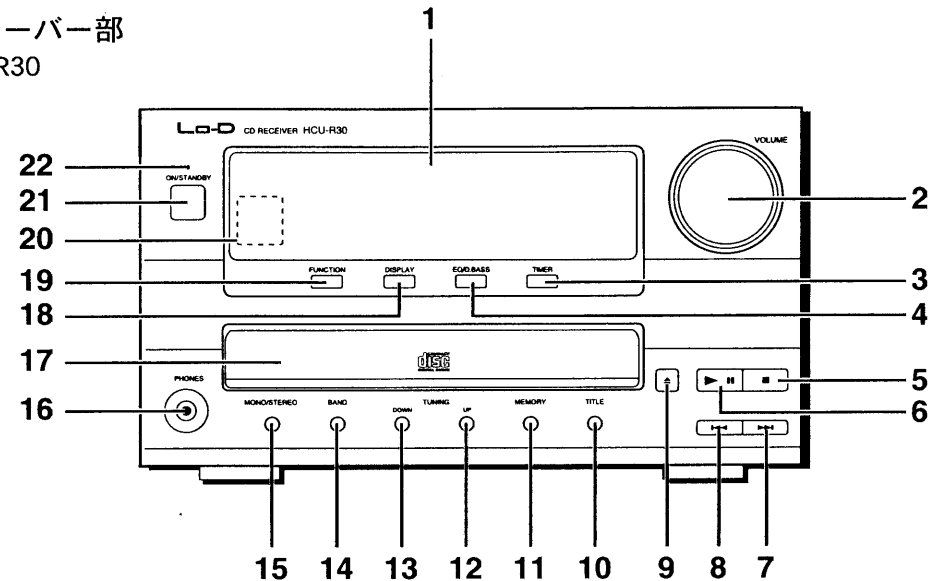
接続のしかた (D-R100と使用する場合)



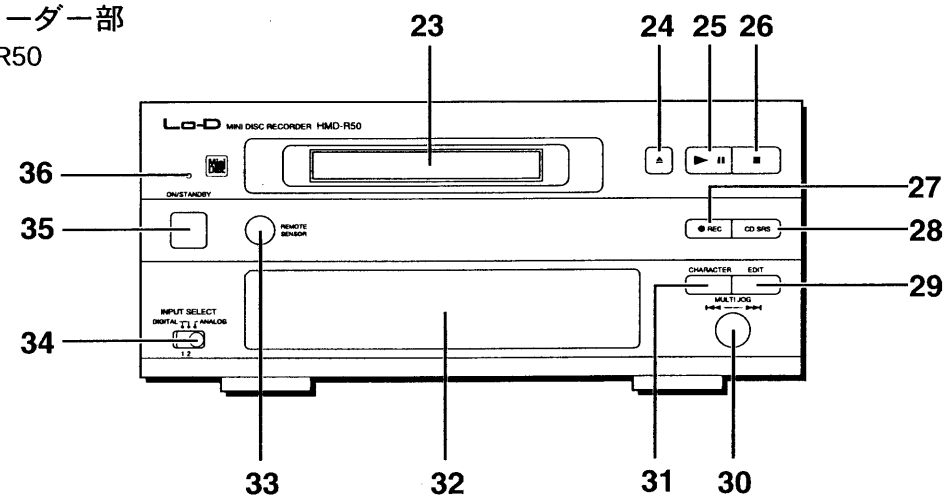
各部の名称

(CDレシーバー部、MDレコーダー部)

CDレシーバー部
HCU-R30



MDレコーダー部
HMD-R50



各部の名称

CDレシーバー部 (HCU-R30)

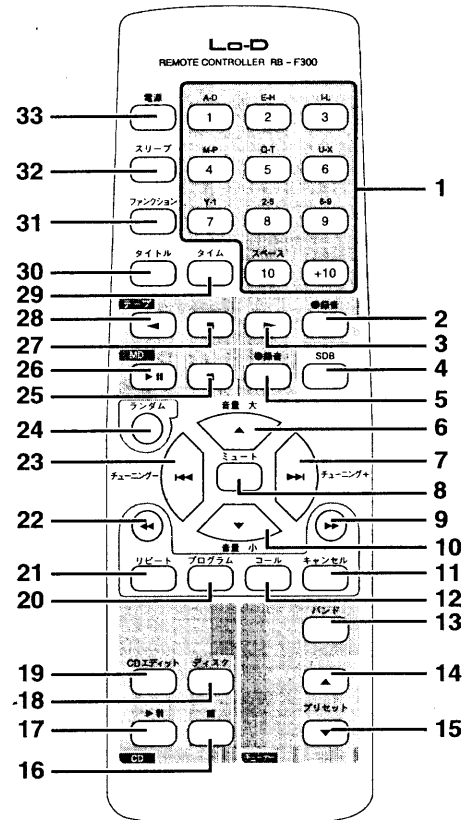
1. 表示窓
2. VOLUME (音量調整) つまみ
3. TIMER (タイマー) ボタン
4. EQ/D.BASSBAND (イコライザー/ダイナミックバス) ボタン
5. 停止 (■) ボタン
6. 再生/一時停止 (▶||) ボタン
7. 順方向スキップ/サーチ (▶▶) ボタン
8. 逆方向スキップ/サーチ (◀◀) ボタン
9. トレイ開閉 (▲) ボタン
10. TITLE (タイトル) ボタン
11. MEMORY (メモリー) ボタン

12. TUNING UP (選局アップ) ボタン
13. TUNING DOWN (選局ダウン) ボタン
14. BAND (バンド切換え) ボタン
15. MONO/STEREO (モノラル/ステレオ切換え) ボタン
16. ヘッドホンジャック
17. CDトレイ
18. DISPLAY (表示切換え) ボタン
19. FUNCTION (ファンクション) ボタン
20. リモコン受光部
21. ON/STANDBY (電源オン/スタンバイ) ボタン
22. ON/STANDBY (電源オン/スタンバイ) インジケータ

MDレコーダー部 (HMD-R50)

23. MD挿入口
24. ディスク取出し (▲) ボタン
25. 再生/一時停止 (▶||) ボタン
26. 停止 (■) ボタン
27. REC (録音) (●) ボタン
28. CD SRS (CDシンクロ録音) ボタン
29. EDIT (編集) ボタン
30. MULTI JOG (マルチジョグ) つまみ
31. CHARACTER (文字種類) 選択ボタン
32. 表示窓
33. REMOTE SENSOR (リモコン受光部)
34. INPUT SELECT (入力切換え) スイッチ
35. ON/STANDBY (電源オン/スタンバイ) ボタン
36. ON/STANDBY (電源オン/スタンバイ) インジケータ

各部の名称(リモコン)



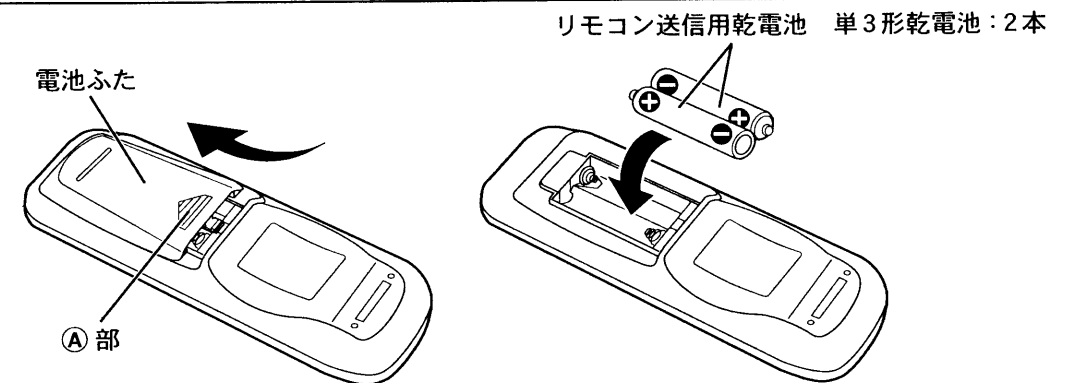
1. テンキー (1~10、+10) ボタン
2. テープ：録音ボタン (●)
3. テープ：A面再生ボタン (▶)
4. SDB (ダイナミックバス) ボタン
5. MD：録音ボタン (●)
6. 音量調節ボタン (大) (▲)
7. CD、MD：順方向スキップボタン (▶▶)
- チューナ：チューニング+ (選局プラス) ボタン
8. ミュートボタン
9. CD、MD：順方向サーチボタン (▶▶)
10. 音量調節ボタン (小) (▼)
11. キャンセルボタン
12. コールボタン
13. バンド切換えボタン
14. プリセットボタン (アップ) (▲)
15. プリセットボタン (ダウン) (▼)
16. CD：停止ボタン (■)
17. CD：再生/一時停止ボタン (▶||)
18. ディスク選択ボタン (本機では使用しません)
19. CD エディットボタン
20. プログラムボタン
21. リピートボタン
22. CD、MD：逆方向サーチボタン (◀◀)
23. CD、MD：逆方向スキップボタン (◀◀)
- チューナ：チューニング- (選局マイナス) ボタン
24. ランダムボタン
25. MD：停止ボタン (■)
26. MD：再生/一時停止ボタン (▶||)
27. テープ：停止ボタン (■)
28. テープ：B面再生ボタン (◀)
29. タイムボタン
30. タイトルボタン
31. ファンクションボタン
32. スリープボタン
33. 電源ボタン

リモコンについて

リモコンの使える範囲は

- リモコンは本体リモコン受光部に向けて操作してください。
- 動作範囲は、本体ディスプレイ部の正面に向けた場合の直線距離で5~7m以内です。正面からずれるとこれより短くなります。

電池の入れかた



- ① 電池のふたの(A)部を下に押しながら矢印の方向に引くと、電池ふたがはずれます。
- ② 電池の⊕、⊖を確認して、正しく入れてください。電池は単3形乾電池2本を使用します。
- ③ 電池を入れ終わったら、電池ふたを取り付けます。
- ※ 乾電池の誤った使いかたは、液もれや破裂の危険につながります。下記の乾電池に対する「△注意」をよくお読みになって、正しく取り扱ってください。
- ※ 付属の単3形乾電池は動作確認用ですので、短期間に消耗してしまうことがあります。できるだけ早期に新しい乾電池と交換してください。

△注意

- 乾電池の誤った使いかたは、液もれや破裂の危険につながります。次の点にご注意ください。
- ① 乾電池は⊕プラスと⊖マイナスの向きを、間違えないように正しく入れてください。
 - ② 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。
 - ③ 種類の異なる乾電池(例えば、マンガン乾電池とアルカリ乾電池)を混ぜて使用しないでください。
 - ④ 長時間ご使用にならない場合は、乾電池をリモコンから取り出しておいてください。
 - ⑤ 乾電池を加熱したり、分解したり、ショートさせたり、火の中に投入しないでください。


リモコン操作時のご注意

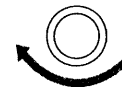
- リモコンの操作をするとき、操作ボタンの早押しをすると、本体が動作しない場合があります。操作ボタンはゆっくりと確実に押してください。
- リモコン受光部に強い光が当たっていたり、リモコンと受光部の間に障害物があると、リモコンが動作しないことがあります。
- リモコンの乾電池が消耗すると、リモコンの動作範囲内でも動作しないことがあります。そのときは2本とも新しい乾電池と交換してください。
- リモコンに水などの液体をかけたたり、滴下させないでください。内部に液体が入ると、リモコンの操作ができなくなります。

・ 操作をする前に

操作方法の見方

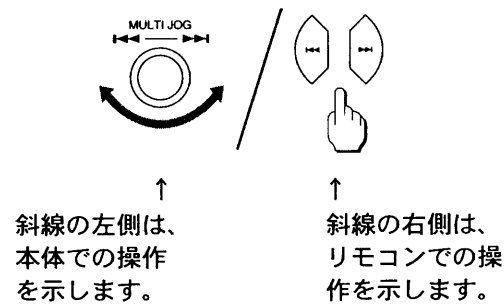
●この取扱説明書では、操作方法をなるべく簡潔に表現するため、次のような表示方法を取っています。

 : 本体またはリモコンのボタンを押すことを示します。

 : 本体のつまみを回すことを示します。


●操作方法は基本的に本体部での操作を示しますが、リモコンでも操作できる操作は次のように左右にならべて表示しています。

(例)

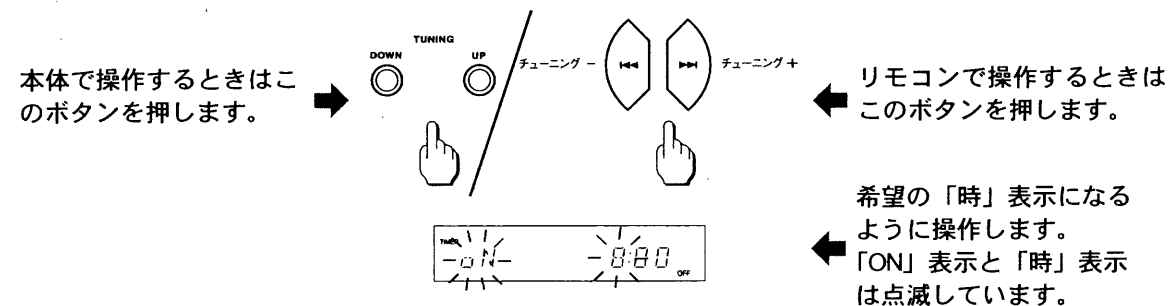


※リモコンでしかできない操作は、その旨表示しています。

●表示窓は、「操作によって表示部がこうになる。」または、「このような表示になるように操作する。」ことを示します。

 は、表示が点滅していることを示します。

(例) タイマー再生/録音の開始時刻の「時」を合わせる



操作をする前に

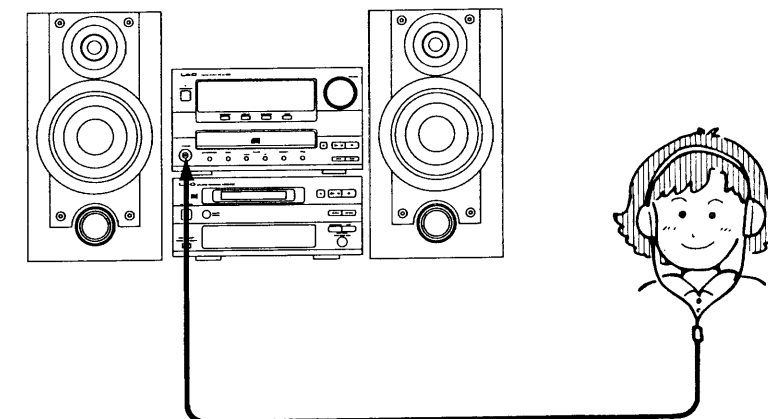
オートファンクション機能について

本機はオートファンクション機能を備えています。MD、CDの再生/一時停止ボタンまたはバンド切換えボタンを押すことにより、ファンクションの切換えができます。また、電源スタンバイ状態から再生/一時停止ボタンまたはリモコンのプリセットボタンを押すだけで、電源オンし、ディスク再生、ラジオ放送受信ができます。ただし、エコモードで待機しているときは、オートファンクション機能は、はたらきません。(14 ページ参照)

ヘッドホンでお聴きになるときは

●夜間などにヘッドホンで音楽を楽しまれるときは、別売のステレオヘッドホンのプラグを本体のヘッドホン端子に差し込みます。ヘッドホンの音量は、音量調節つまみで調整します。ヘッドホンのプラグを差し込むとスピーカーから音が出なくなります。

注意 ヘッドホンは耳を刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。



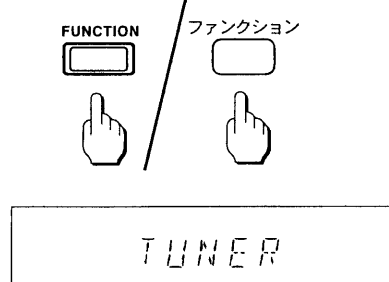
■ステレオ音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮(おみやり)を十分にいたしましょう。ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には特に気を配りましょう。窓を締めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

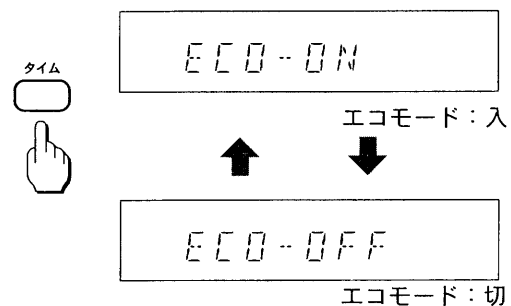
・ 節電機能の使いかた(エコモード)

本機は待機時の消費電力を節約する節電(ECO: エコモード)機能をそなえています。この機能は入/切できますが、地球環境保護のため、この節電機能をご使用になることをお勧めします。

1 ファンクションをチューナーにする

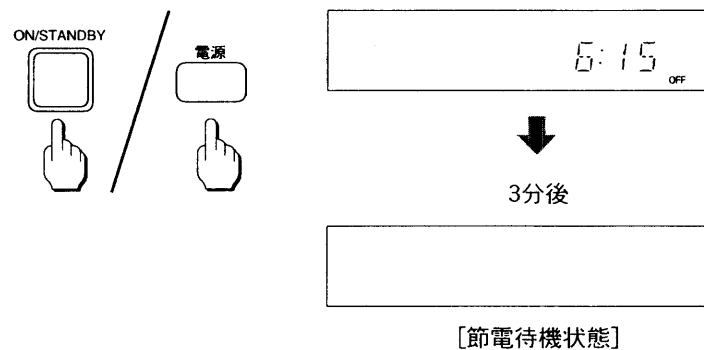


2 リモコンのタイムボタンを押す



一回押すと現在の設定が表示されます。設定を変更するときにはもう一度押します。

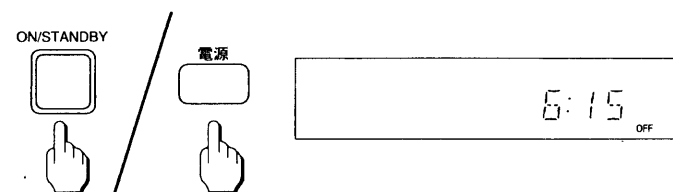
3a エコモード入り(ECO-ON)にすると電源を切ってから約3分後に節電待機状態になります



4a 節電待機状態では

電源ボタンだけがはたらきます。(オートファンクション機能ははたらきません)

3b エコモード切り(ECO-OFF)にすると通常のスタンバイモードがつづきます

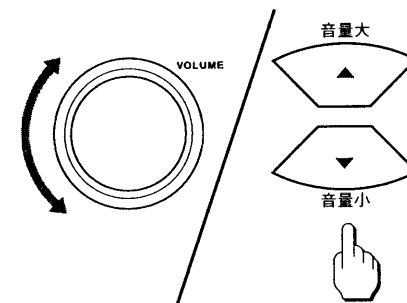


4b 通常のスタンバイモードでは

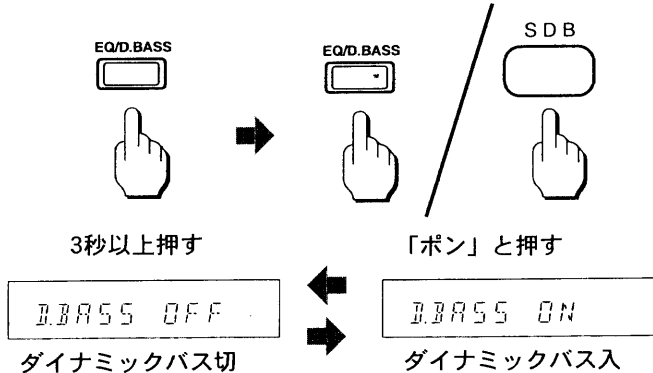
MD、CDの再生/一時停止ボタン、本体のバンドボタンまたはリモコンのプリセットボタンを押すだけで電源オンし、ディスク再生、ラジオ放送受信ができます。(オートファンクション機能)

・ 音量・音質の調整のしかた

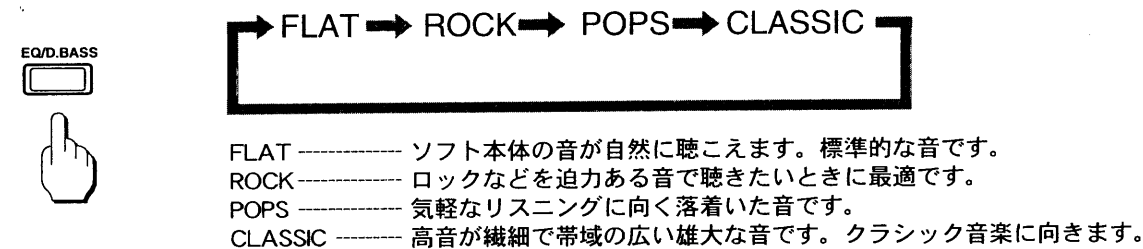
音量を調整するには



重低音を強調するには (ダイナミックバス)

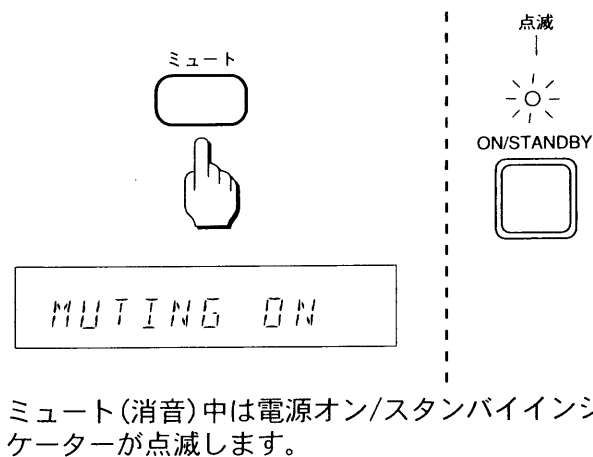


好みの音質を選ぶには

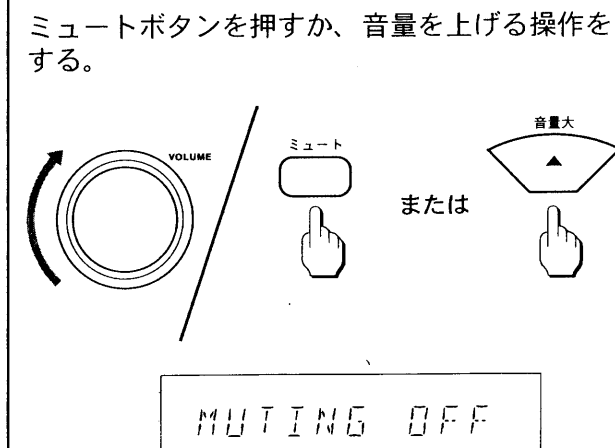


・ 音を一時的に消す(消音)には (リモコン操作のみ)

消音するには



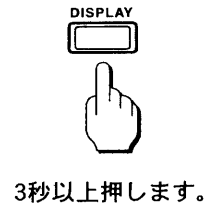
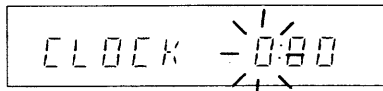
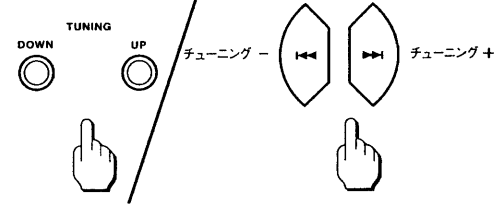
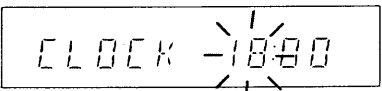
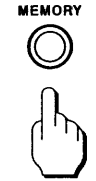
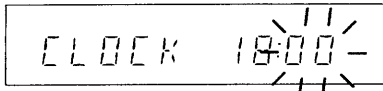
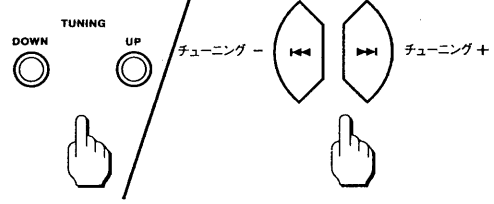
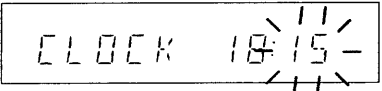
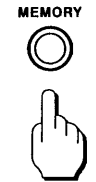
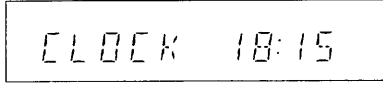
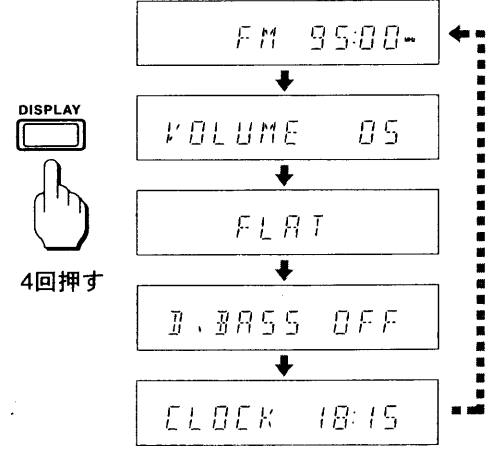
消音を取り消すには



・ 現在時刻の合わせかた

本機の時刻表示は24時間表示です。

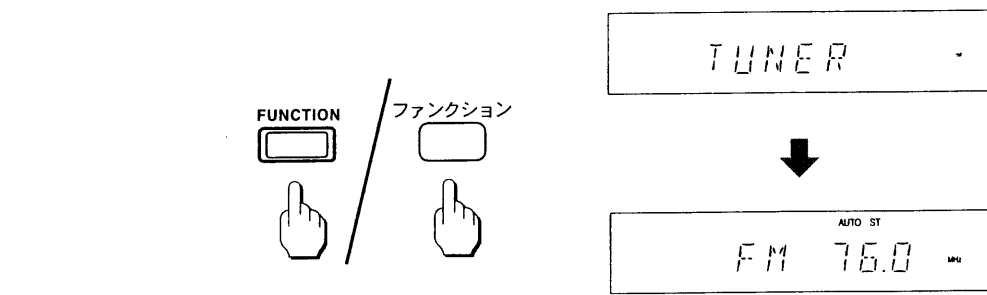
たとえば18:15 (午後6:15)に合わせるとき

1 時刻合わせモードにする	2 「時」を合わせる
 <p>3秒以上押します。</p> 	 
3 「時」を決定する	4 「分」を合わせる
 	 
5 時刻合わせ終了	6 現在時刻を確認するには
  <p>MEMORYボタンを押したときから時計は動作を始めます。</p>	 <p>ボタンを押すたびに表示が変わります。もとの表示に戻すには、もう一度押します。他の操作をしたときも時計表示は解消されます。</p>

●停電や電源コードを抜いたとき、時計表示は点滅状態になりますので、設定をやり直してください。

・ ラジオを聴く

1 ファンクションをチューナーにする

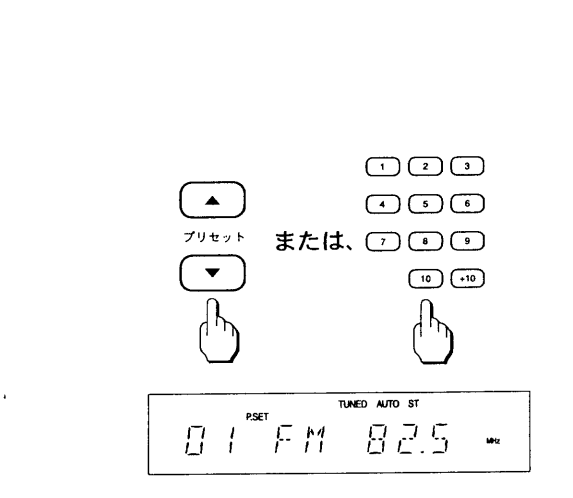


プリセット選局 (リモコン操作のみ)

マニュアル選局

2a 放送局を選ぶ

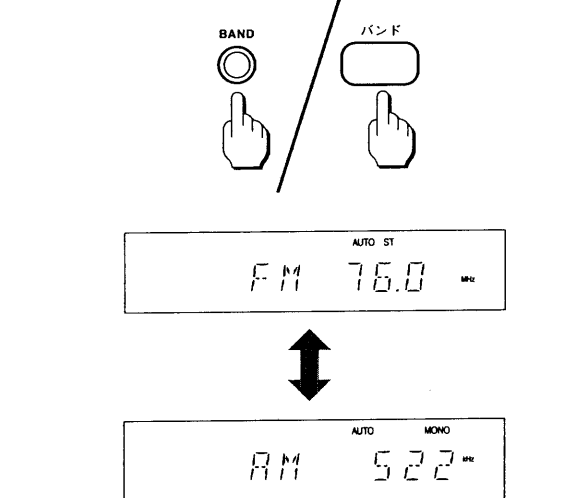
2b バンドを選ぶ



プリセット または、

1 2 3
4 5 6
7 8 9
10 +10

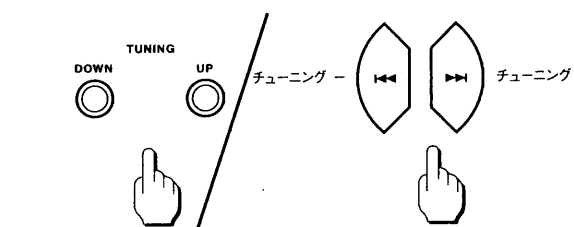
01 PSET TUNED AUTO ST FM 82.5



●テンキーボタンでプリセット番号11以上の放送局を選ぶときは、+10ボタンで10の桁を選んでから1の桁を選んでください。

(例) プリセット番号21: (+10)、(+10)、(1)と押す。

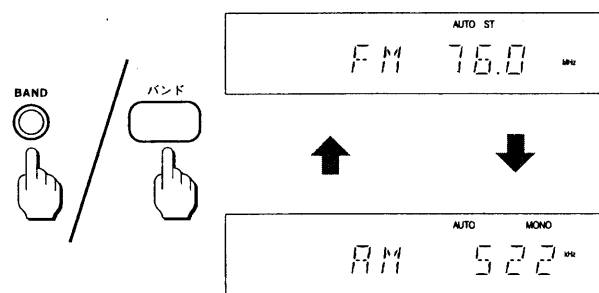
3b 放送局を選ぶ



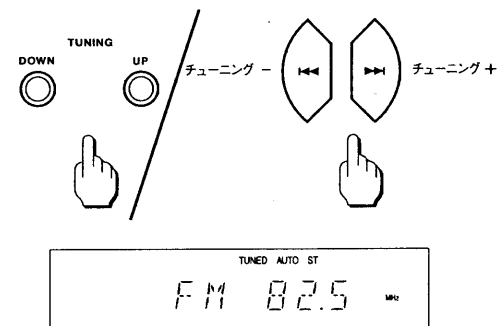
チューニングボタンを1秒以上押してから離すと、放送を受信したところで自動的に止まります。

・ 放送局をプリセットする

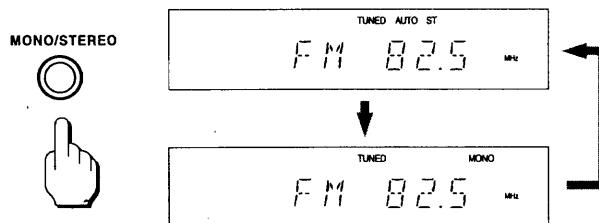
1 バンドを選ぶ



2 放送局を選ぶ

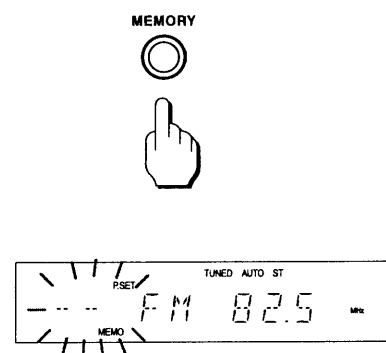


3 FM受信モード (モノ/ステレオ) を選ぶ (FM受信のとき)

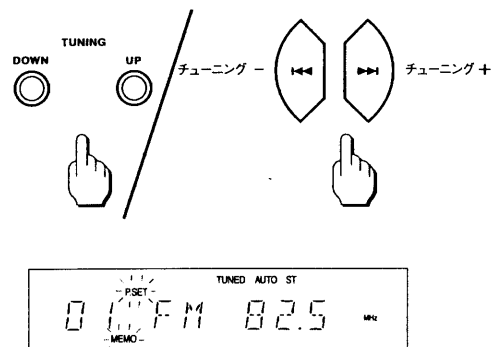


※ 雑音が多いときは、モノにした方が聴きやすくなります。

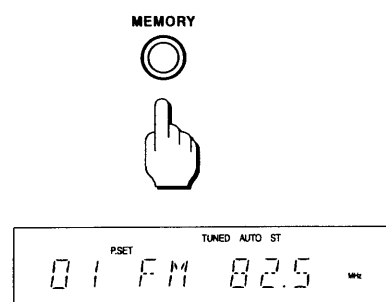
4 プリセットモードにする



5 プリセット番号を選ぶ



6 プリセットする



7 ほかの局を記憶させるには、手順1~6をくり返します
最大40局までプリセットできます。

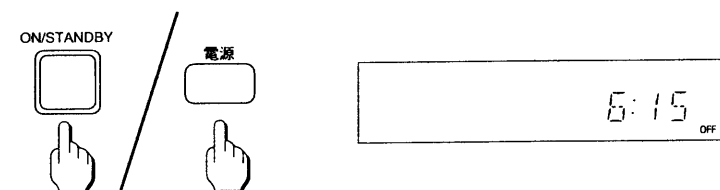
8 手順5のあとで、放送局名を入力できます (20ページを参照)

ご注意

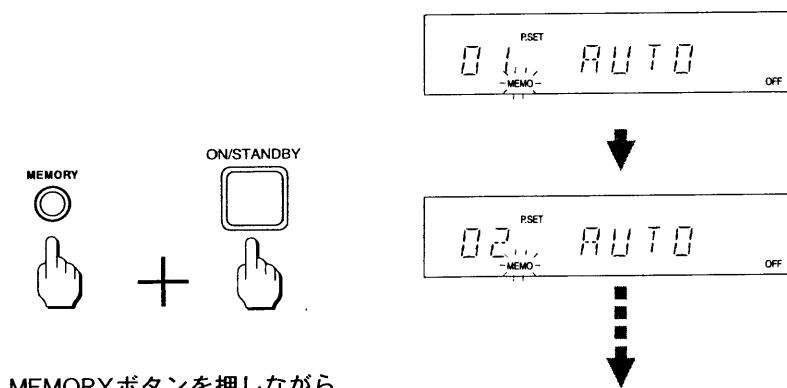
- 本機はあらかじめ調整用周波数がプリセットされています。

・ FM放送局を自動でプリセットするには (オートプリセット)

1 待機状態(スタンバイ)にする



2 オートプリセットをスタートさせる



MEMORYボタンを押しながら
ON/STANDBYボタンを押します。

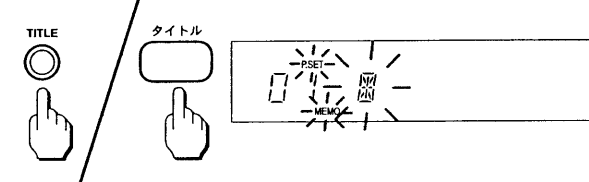
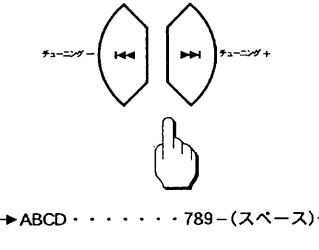
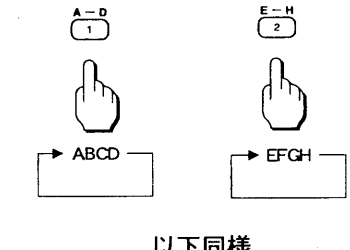
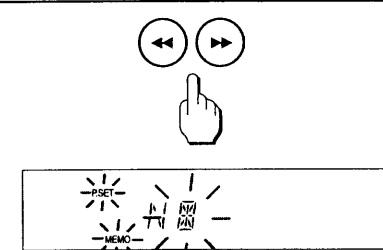

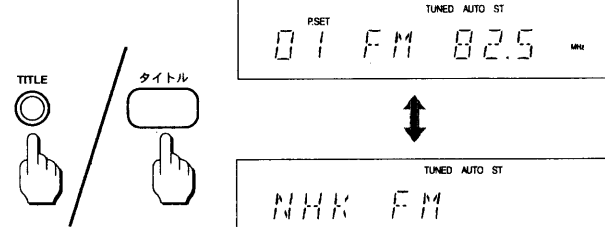
・最大40局まで記録できます。

- 周波数の低い放送局から順にプリセット番号1からプリセットします。

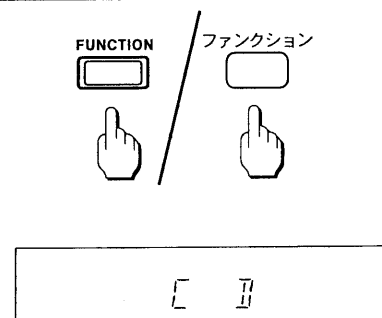
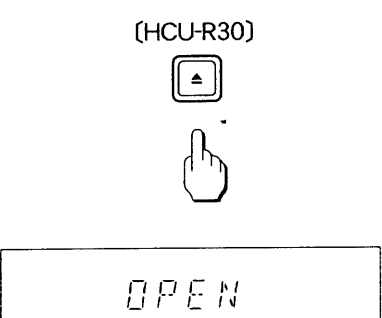
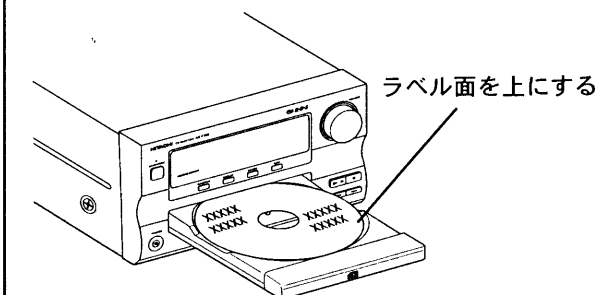
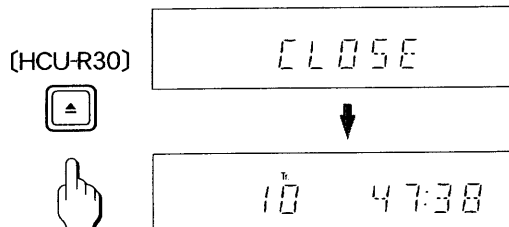
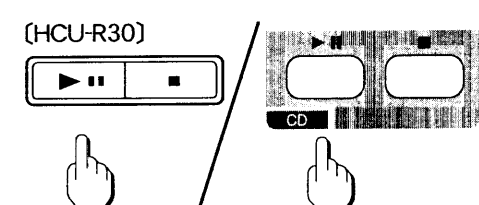
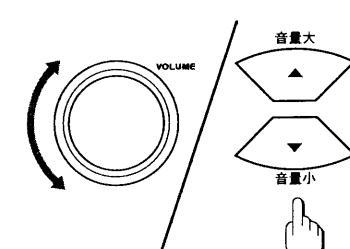
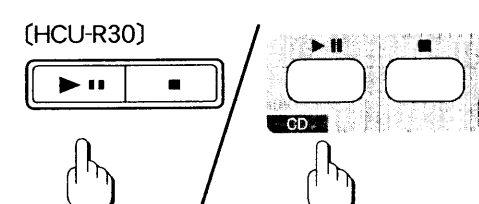
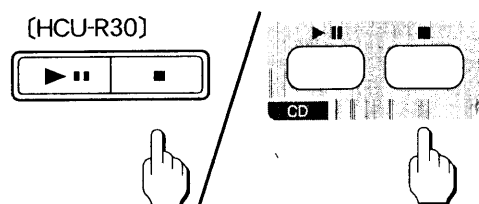
ご注意

- 放送局名を表示したいときは手動でプリセットしてください。
- AM放送局をオートプリセットすることはできません。

・ 放送局に名前をつける

<p>1 18ページの手順5のあと、次のようにしてください</p>	<p>2 局名入力モードにする</p> 
<p>3 文字を選ぶ (リモコン操作のみ)</p> <p>(1)チューニングボタンで選ぶ場合  </p> <p>(2)テンキーで選ぶ場合  </p> <p>以下同様</p>	
<p>4 カーソルを送る (リモコン操作のみ)</p>  <p>スペース：(▶▶) を2回押す</p>	<p>5 手順3と4をくり返す</p> <p>8文字まで入力できます</p> <p>●文字を訂正するには 訂正したい文字の上にカーソルを移動して入力しなおします。</p>
<p>6 入力終了</p> 	<p>7 局名を表示するには</p>  <p>周波数表示モードと局名表示モードが切換えられます。</p>

・ CDを聴く

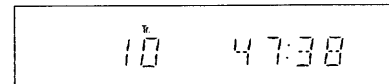
<p>1 ファンクションをCDにする</p> 	<p>2 CDトレイを開く</p> 
<p>3 CDを入れる</p>  <p>ラベル面を上にする</p>	<p>4 CDトレイを閉じる</p> 
<p>5 演奏を始める</p> 	<p>6 音量を調整する</p> 
<p>7 演奏を一時停止するには/再開するには</p>  <p>一時停止からもう一度再生/一時停止ボタンを押すと、止めたところから再び演奏が始まります。</p>	<p>8 演奏を停止するには</p> 

CD演奏の便利な使いかた

好きな曲から演奏を始めるには (ダイレクト選曲)

たとえば7曲目から演奏したいときは

1 停止状態から操作します



2 曲番を選び演奏を始める

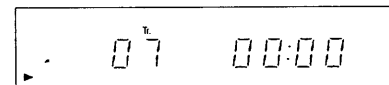


選んだ曲から演奏が始まります。

・曲番11以上の曲を選ぶときは+10ボタンで10の桁を選んでから1の桁を選んでください。

(例)21曲目: [+10]、[+10]、[1]と押す。

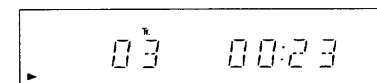
・スキップボタンで曲を選んでから再生/一時停止ボタンを押してもできます。



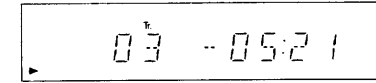
再生時間の表示モードを切替えるには (リモコン操作のみ)



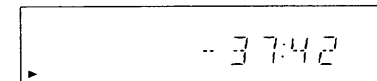
演奏中の曲の演奏経過時間



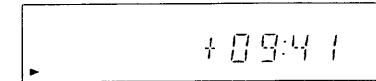
演奏中の曲の残りの演奏時間



ディスクの残りの演奏時間

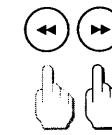


ディスクの累積演奏時間



CD演奏の便利な使いかた

再生中にすばやく好きなところをさがすには (マニュアルサーチ) (リモコン操作のみ)



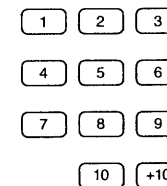
▶▶ : 早送り

◀◀ : 早戻し

再生中にボタンを押し続けます。
指を離すと通常の再生に戻ります。

演奏中に好きな曲へ飛ぶには

(1) ダイレクト選曲 (リモコン操作のみ)

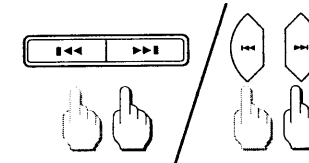


リモコンのテンキーボタンを押すと選んだ曲から演奏が始まります。

・曲番11以上の曲を選ぶときは、+10ボタンで10の桁を選んでから1の桁を選んでください。

(例) 曲番21: [+10]、[+10]、[1]と押す。

(2) スキップ選曲



聴きたい曲番が表示されるまで「ポン」
「ポン」と繰り返し押します。

たとえば、5曲目を演奏中のとき

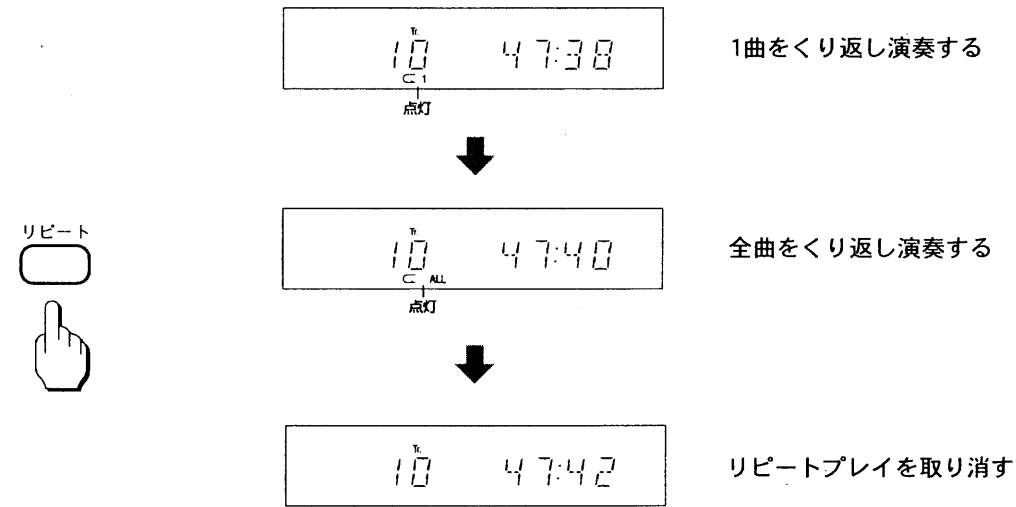
・次の曲 (6曲目) を演奏するには▶▶ボタンを「ポン」と1回押す。

・5曲目をもう一度演奏するには◀◀ボタンを「ポン」と1回押す。

・前の曲 (4曲目) を演奏するには◀◀ボタンを「ポン」「ポン」と2回押す。

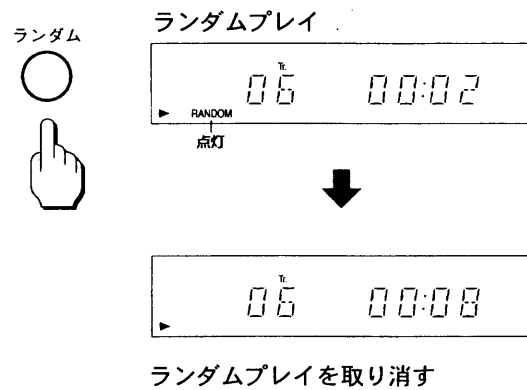
CDを繰り返して演奏する (リピートプレイ)(リモコン操作のみ)

CD演奏中または停止中にリピートボタンを押す

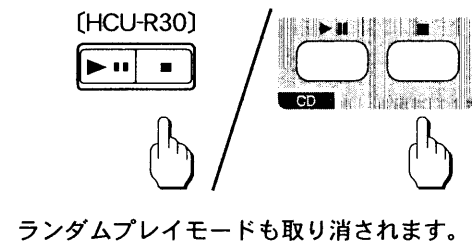


CDの曲を順不同に演奏する (ランダムプレイ)(リモコン操作のみ)

停止中でも演奏中でも操作できます。

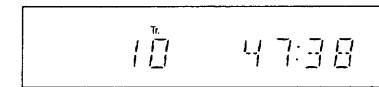


ランダムプレイを停止するには

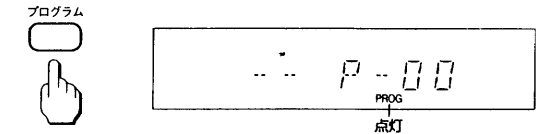


好きな曲を選び好きな順番で演奏するには (プログラムプレイ)(リモコン操作のみ)

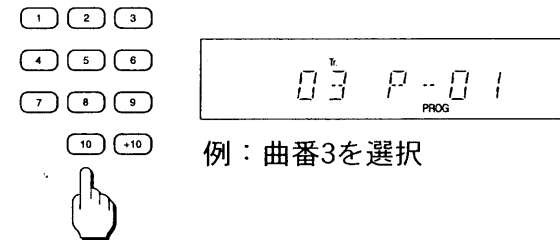
1 停止状態から操作します



2 プログラム選曲モードにする

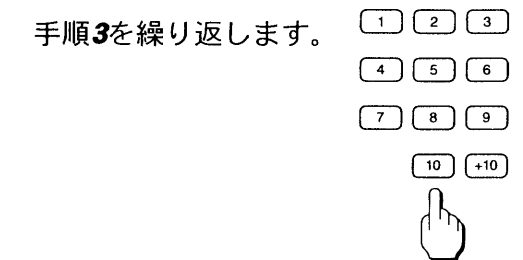


3 曲番を選ぶ

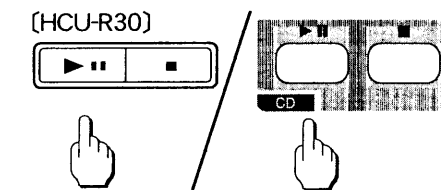


・曲番11以上の曲を選ぶときは、+10ボタンで10の桁を選んでから1の桁を選んでください。
(例) 曲番21：+10、+10、1と押す。

4 2曲目以降をプログラムする



5 演奏を始める



プログラムした曲を取り消すには



最後にプログラムした曲が取り消されます。

プログラムした曲を確認するには



プログラムした曲が順に表示されます。

プログラムを取り消すには



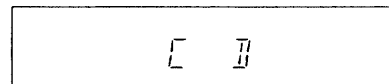
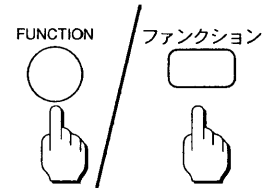
「PROG」表示を消灯させます。

・CDトレイを開いたときもプログラムは取り消されます。

CDエディット録音

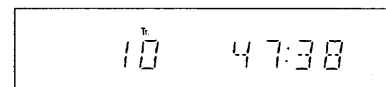
本機をカセットデッキD-R100と組み合わせて使用すると、CDの曲をテープの長さに応じて自動的に編集して録音できます。

1 CDファンクションにする



2 CDをセットする

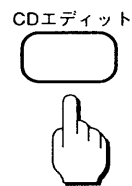
21ページ「CDを聴く」の手順2~4によってCDをセットします。



3 テープをセットする

D-R100取扱説明書13ページ「カセットテープの録音」の手順2~5によってテープをセットします。
このときテープ走行モードはCにしておきます。

4 使用するテープの長さを選ぶ (リモコン操作のみ)



46分テープを使用するとき

54分テープを使用するとき

60分テープを使用するとき

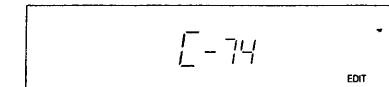
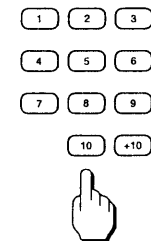
90分テープを使用するとき

46分、54分、60分、90分以外のテープを使用するとき (手順5参照)



CDエディット録音

5 46分、54分、60分、90分以外のテープを使用するときは (リモコン操作のみ)



例：74分テープを使用するときは

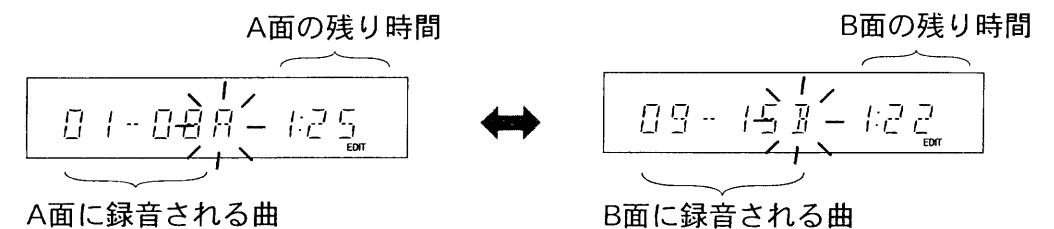
[+10]、[+10]、[+10]、[+10]、[+10]、[+10]、[+10]、[+10]、[4]と押します。

リモコンのテンキーボタンで使用するテープの長さを入力します。

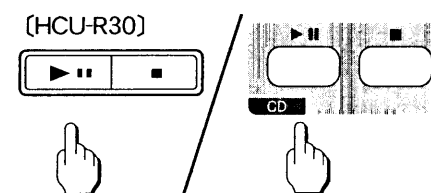
※最大99分まで入力できます。

6 録音される曲番と残り時間を確認する

A面とB面の情報が自動的に交互に表示されます。



7 録音をはじめ



はじめにテープが巻戻され、約7秒間の無録音部分を作ってから録音が始まります。

各曲の間には自動的に約5秒間の曲間(無録音部分)がつけられます。

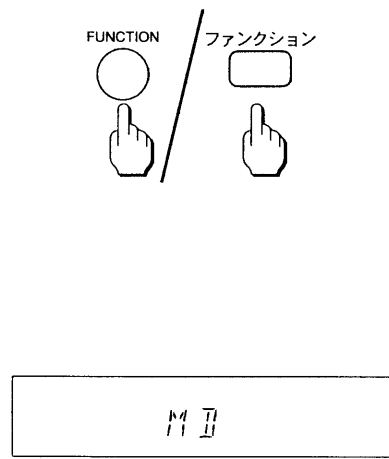
エディット録音中はテープとCDの停止ボタン、電源ボタン以外のボタン操作はできません。エディット録音をやめるときはテープかCDの停止ボタンを押してください。

ご注意

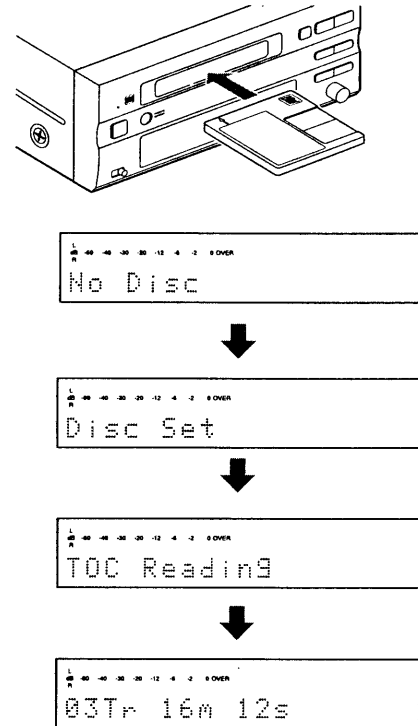
- ・ テープの長さがCDの演奏時間より多少長くても、曲の配分により録音されない曲がでてきます。
- ・ 録音済のテープをご使用になった場合は、B面の残り時間の部分に前の録音が残ることがありますので、あらかじめ消去してから録音してください。

MDを聴く

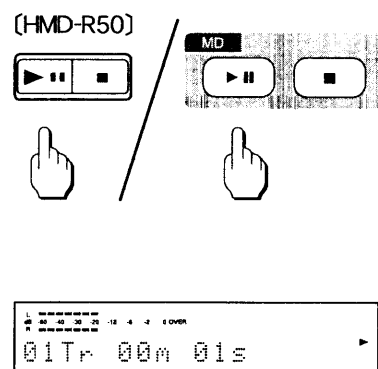
1 ファンクションをMDにする



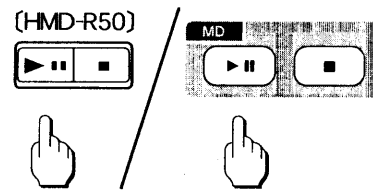
2 MDを入れる



3 演奏を始める

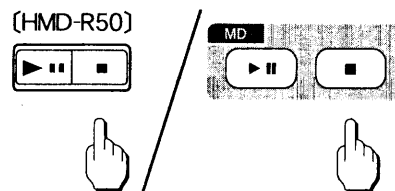


4 演奏を一時停止するには/再開するには



一時停止からもう一度再生/一時停止ボタンを押すと、止めたところから再び演奏が始まります。

5 演奏を停止するには

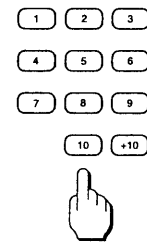


MD演奏の便利な使いかた

演奏中に好きな曲へ飛ぶ/好きな曲から演奏をはじめするには

方法1

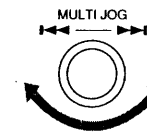
リモコンのテンキーボタンで演奏したい曲番を押します。



曲番11以上の曲を選ぶときは+10ボタンで10の桁を選んでから1の桁を選んでください。
(例) 曲番21: +10、+10、1と押す

方法2

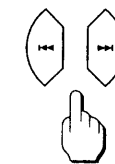
マルチジョグツマミを回して演奏したい曲番を表示させます。



停止中のときは再生/一時停止ボタンを押して演奏をはじめます。

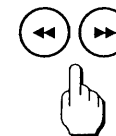
方法3

リモコンのスキップ/サーチボタンを押して演奏したい曲番を表示させます。



停止中のときは再生/一時停止ボタンを押して演奏をはじめます。

演奏中にすばやく好きなところをさがすには (リモコン操作のみ)



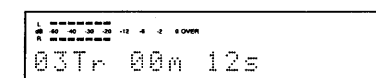
演奏中にボタンを押し続けます。指を離すと通常の演奏に戻ります。

▶▶ : 早送り
◀◀ : 早戻し

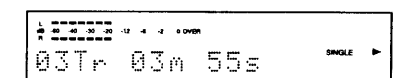
演奏時間の表示モードを変えるには (リモコン操作のみ)



演奏中の曲の演奏経過時間



演奏中の曲の残り演奏時間



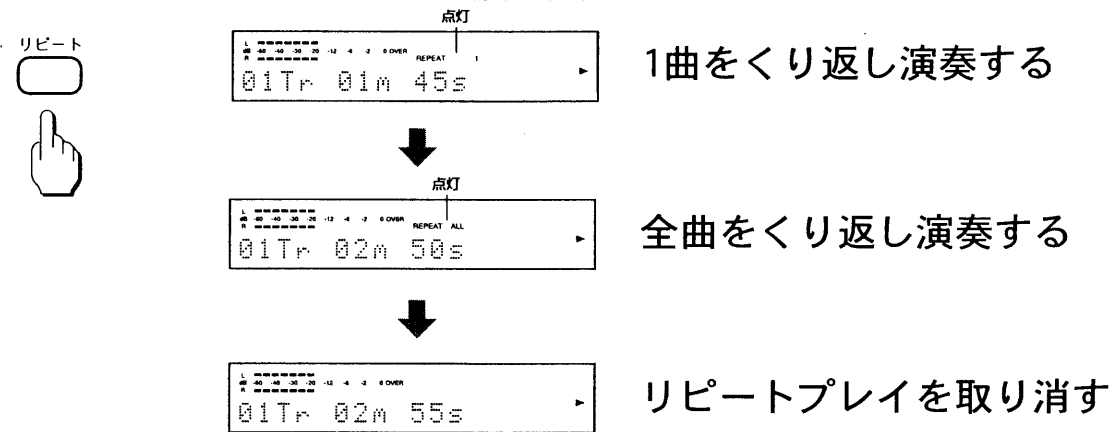
ディスク名や曲名を表示させるには (リモコン操作のみ)



ディスクの名前や曲名を表示します。元の時間表示モードに戻すにはリモコンのタイムボタンを押します。

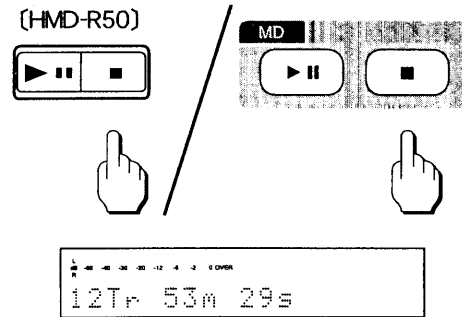
MDを繰り返して演奏する(リピートプレイ) (リモコン操作のみ)

MD演奏中または停止中にリピートボタンを押す

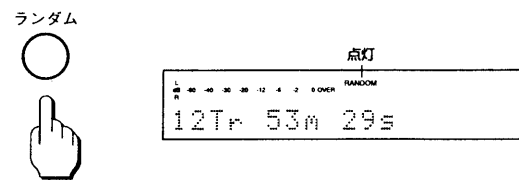


MDを順不同に演奏する(ランダムプレイ) (リモコン操作のみ)

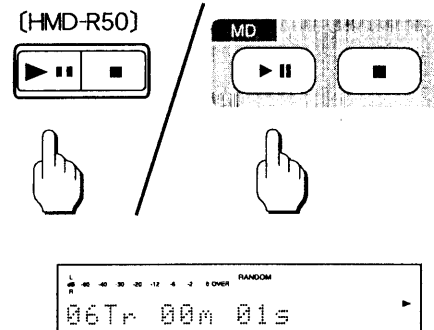
1 停止状態から操作します



2 ランダムプレイモードにする

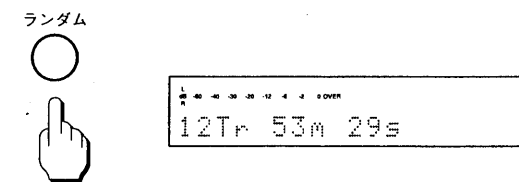


3 ランダムプレイをはじめる



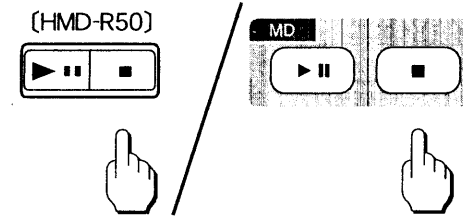
4 ランダムプレイモードを解除するには

MD停止中にランダムボタンを押して「RANDOM」表示を消灯させます。

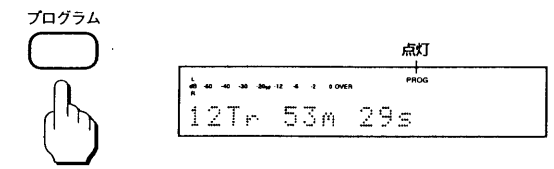


好きな曲を選び好きな順番で演奏するには (プログラムプレイ)(リモコン操作のみ)

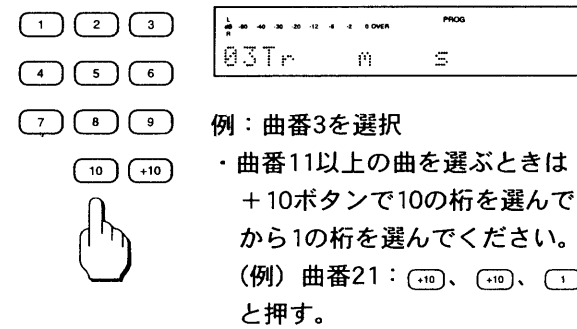
1 停止状態から操作します



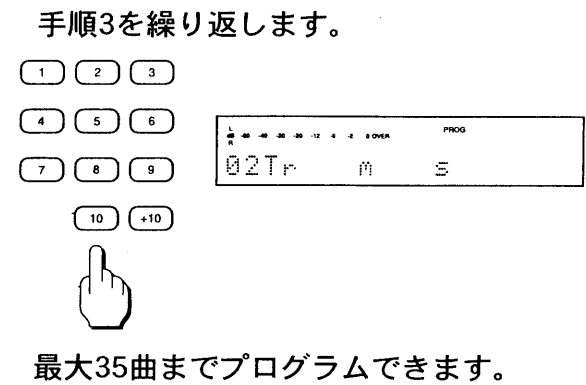
2 プログラム選曲モードにする



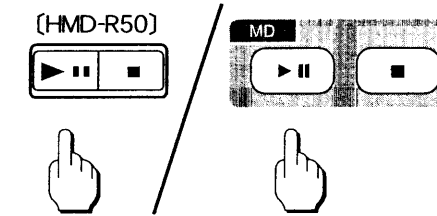
3 曲番を選ぶ



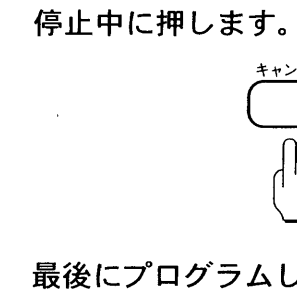
4 2曲目以降をプログラムする。



5 演奏を始める



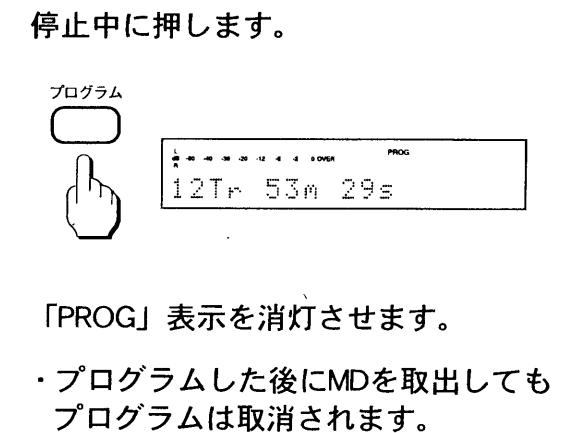
6 プログラムした曲をキャンセルするには



7 プログラムした曲を確認するには

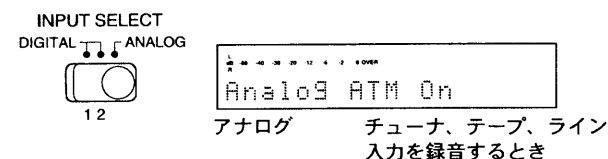
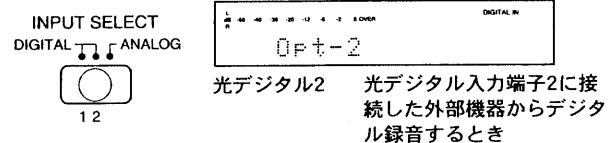
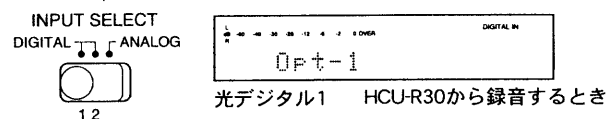


8 プログラムを取消するには

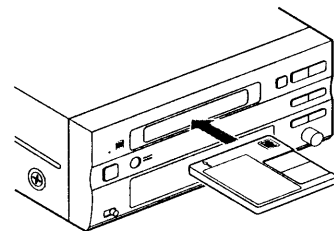


MDに手で録音する(マニュアル録音)

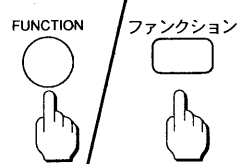
1 入力(デジタル/アナログ)を選ぶ



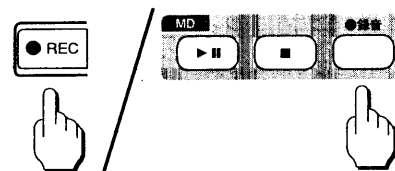
2 録音できるMDを入れる



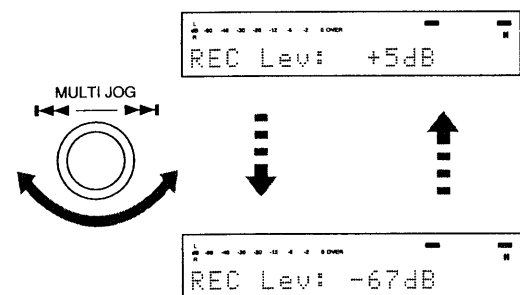
3 録音したいソースを選ぶ



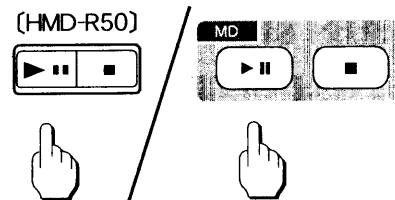
4 録音待機状態にする



5 アナログモードを選択したときは、REC(録音)レベルを調整する。

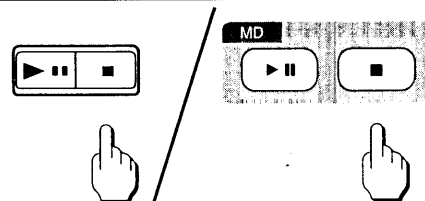


6 録音を開始する



エディットボタンを押すと録音中に曲名入力ができます
(36ページ「曲に名前をつける」をご覧ください)

7 停止するには

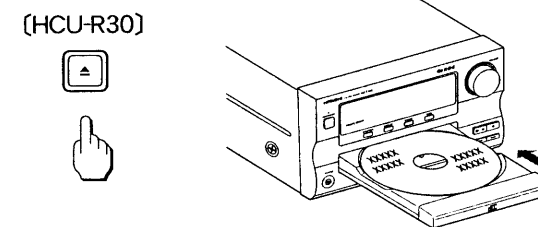


曲番の更新について

- 録音中に一時停止にすると曲番が更新(次の曲番に進む)されます。
- CDをデジタル録音するときは自動的に更新されます。

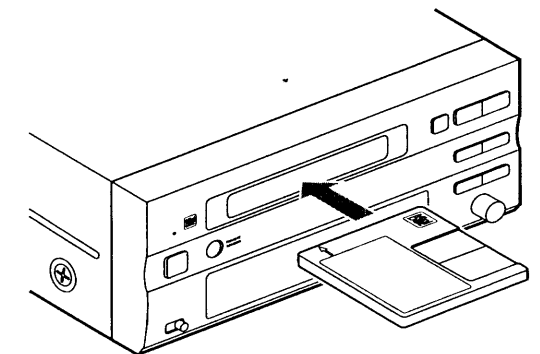
ワンタッチでCDからMDへ録音する(SRSシンクロ録音)

1 CDを入れる

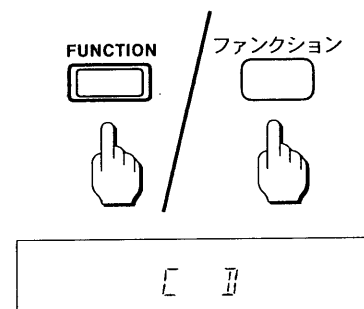


21ページ「CDを聴く」手順2~4をご覧ください。

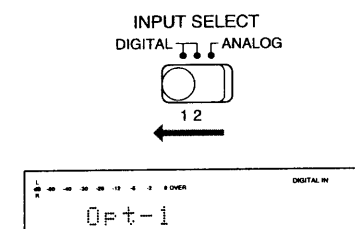
2 録音できるMDを入れる



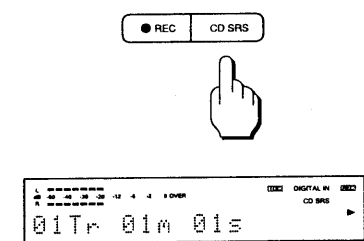
3 ファンクションをCDにする



4 入力を光デジタル1にする

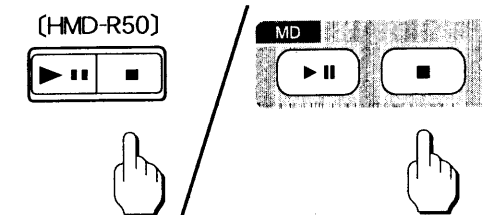


5 SRSシンクロ録音開始



- ・あらかじめCDをプログラムしておくと、好きな曲だけを好きな順番で録音できます。(25ページ「好きな曲を選び好きな順番で演奏するには」をご覧ください。)
- ・SRSシンクロ録音中は、MD、CDの停止ボタン、エディットボタン以外の操作ボタンは、はたらかなくなります。
- ・エディットボタンを押すと録音中に曲名入力ができます。

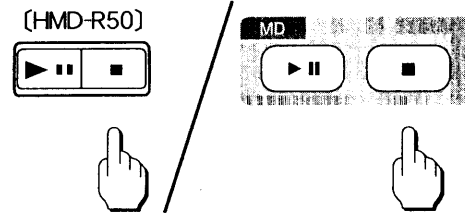
6 録音を停止するには



MD、CD共に停止します。

MDに名前をつける

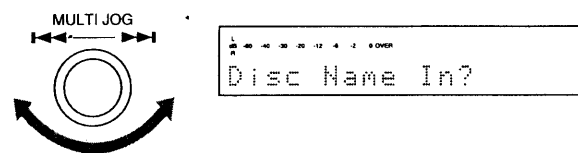
1 MD停止状態で操作します



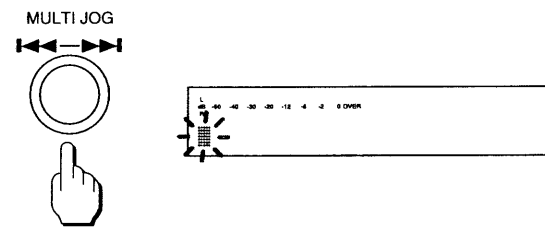
2 エディット(編集)モードにする



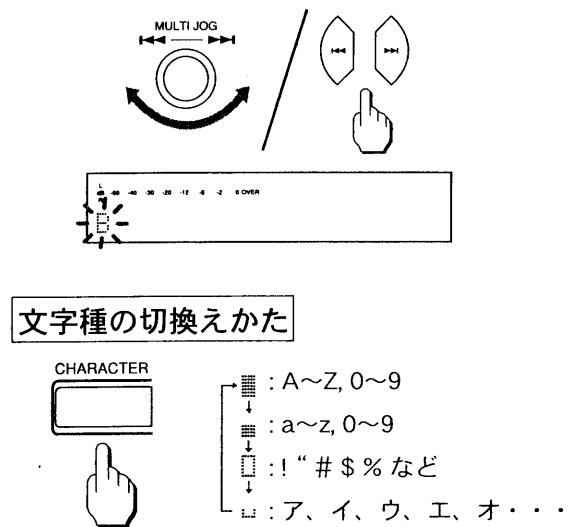
3 ディスク名入力モードを選ぶ



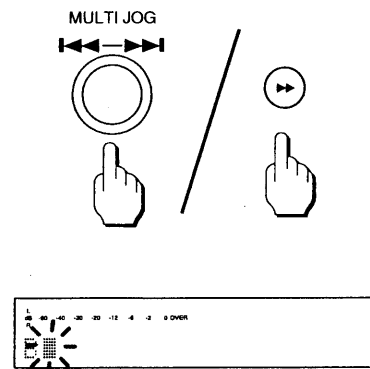
4 ディスク名入力開始



5 文字を選ぶ



6 確定してカーソルを送る

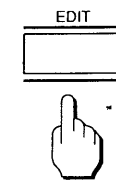


MDに名前をつける

7 手順5と6を繰り返してMDに名前をつける

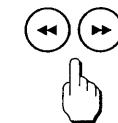
最大100文字まで入力できます。
ただし、曲名とディスク名の合計は1700文字までです。

8 入力終了



入力した文字を取消し/追加するときは
(ファンクションはMDにしておいてください)

1 変更したい文字にカーソルを合わせる

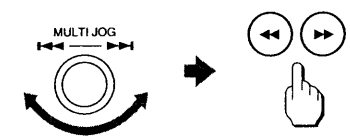


2

〔取消し〕



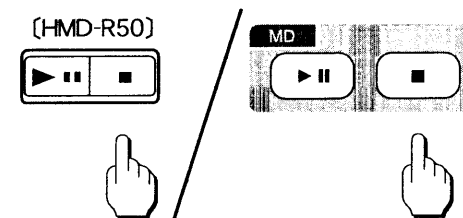
〔追加〕



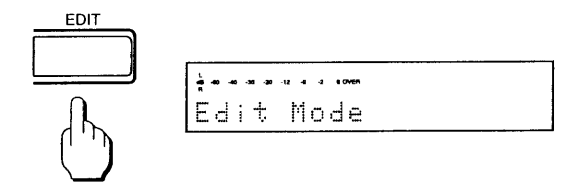
文字の選択はリモコンの◀◀、▶▶ボタンでもできます。

MDの名前を消去する

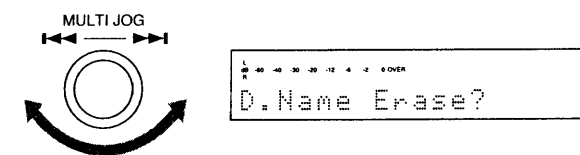
1 停止状態で操作します



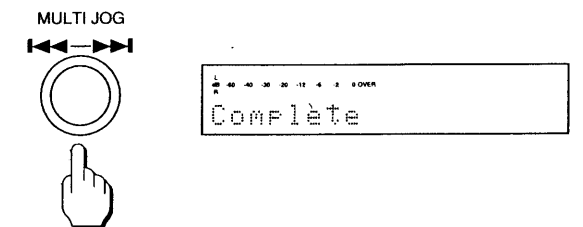
2 エディット(編集)モードにする



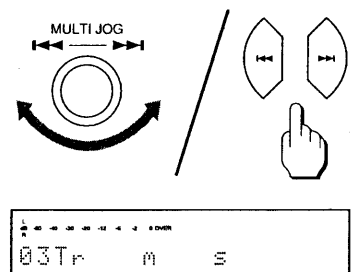
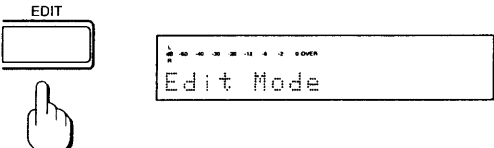

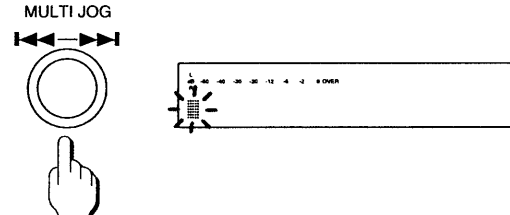
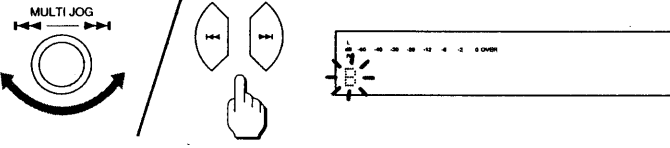
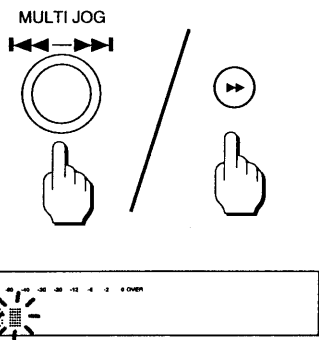
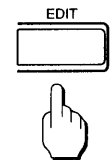
3 ディスク名消去モードにする



4 ディスク名消去実行

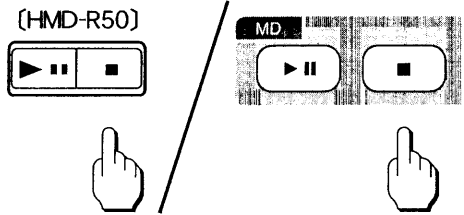
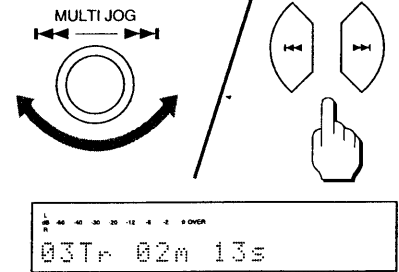
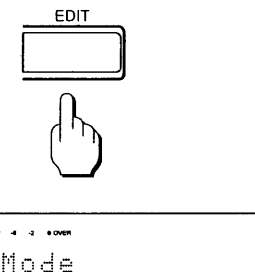
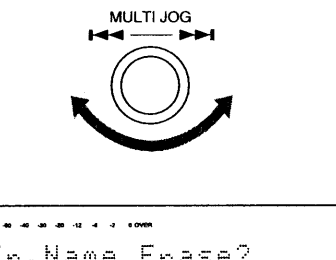
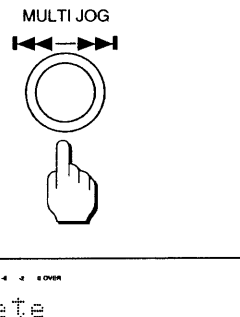


・ 曲に名前をつける

<p>1 好みのトラック (曲番) を選ぶ</p>  <p>停止中でも演奏中でも操作できます。</p>	<p>2 エディット (編集) モードにする</p> 
<p>3 曲名入力モードにする</p> 	<p>4 曲名入力開始</p> 
<p>5 文字を選ぶ</p>  <p>文字種の切換えかた</p> <p>CHARACTER</p> <ul style="list-style-type: none"> ☐ : A~Z, 0~9 ☐ : a~z, 0~9 ☐ : ! " # \$ % など ☐ : ア、イ、ウ、エ、オ・・・ 	<p>6 確定してカーソルを送る</p> 
<p>7 手順5と6を繰り返して曲に名前をつける</p> <p>最大100文字まで入力できます。 ただし、曲名とディスク名の合計は1700文字までです。</p>	<p>8 入力終了</p> 
<p>9 入力した文字を取消し/追加するときは (ファンクションはMDにしておいてください)</p> <p>35ページ「入力した文字を取消し/追加するときは」をごらんください。</p>	

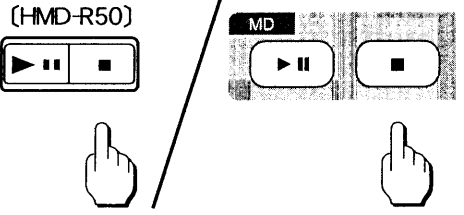

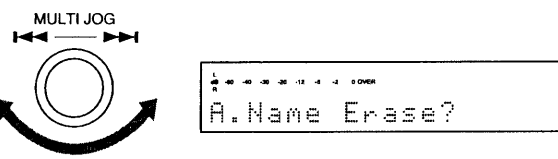

・ 曲の名前を消去する



<p>1 MD停止状態で操作します</p> 	<p>2 曲名を消去したい曲を選ぶ</p> 	
<p>3 エディット (編集) モードにする</p> 	<p>4 トラック名消去モードにする</p> 	<p>5 曲の名前の消去実行</p> 

・ MDの名前と曲の名前を全て消去する



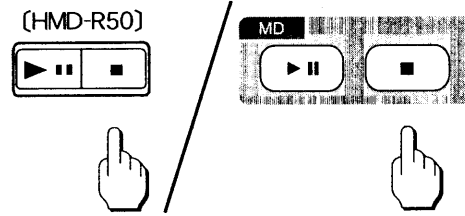
<p>1 MD停止状態で操作します</p> 	<p>2 エディット (編集) モードにする</p> 
<p>3 全名前消去モードにする</p> 	<p>4 ディスク名および全曲名消去実行</p> 

曲を消去する(イレース)



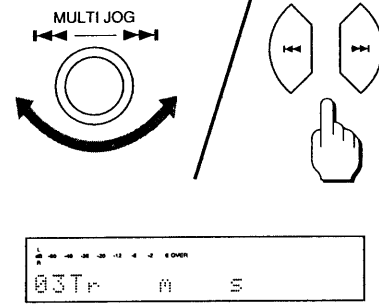
どれか1つの曲を消去するには (トラックイレース)

1 MD停止状態で操作します



一時停止中でも操作できます

2 消したい曲を選択する



3 エディット(編集)モードにする



4 1曲消去モードにする



5 1曲消去実行



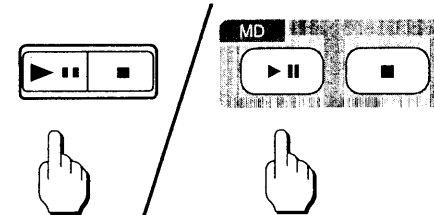
消去した曲以降の曲は曲番が1つずつ繰上ります。

曲を消去する

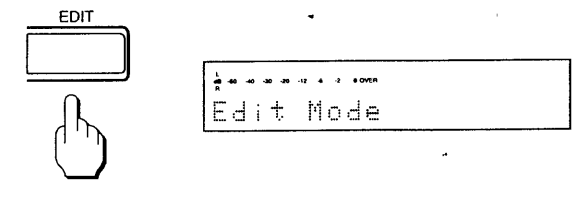


曲の特定の部分を消去するには (A-Bイレース)

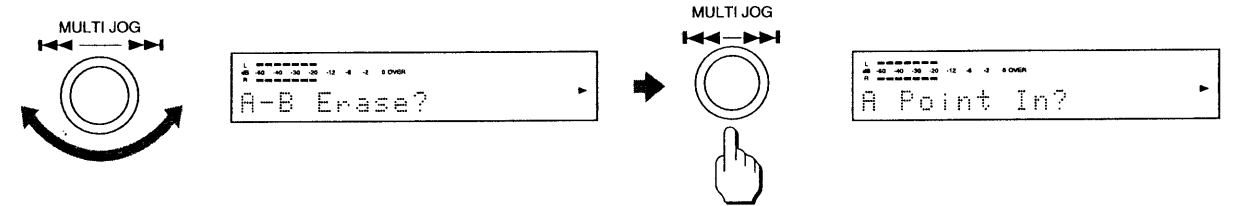
1 MDを再生する



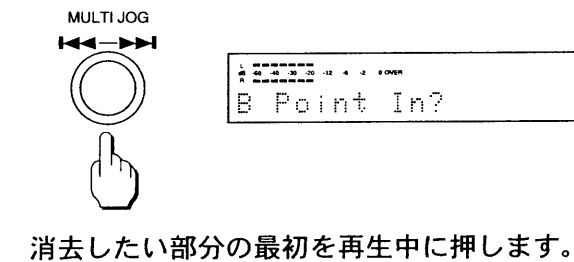
2 エディット(編集)モードにする



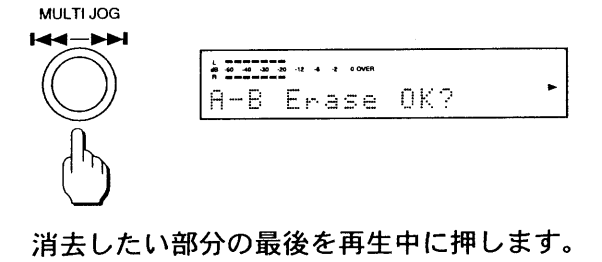
3 A-Bイレース(部分消去)モードにする



4 消去開始ポイントを指定する

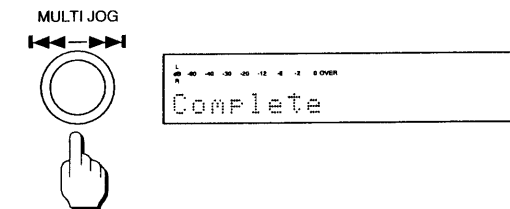


5 消去終了ポイントを指定する



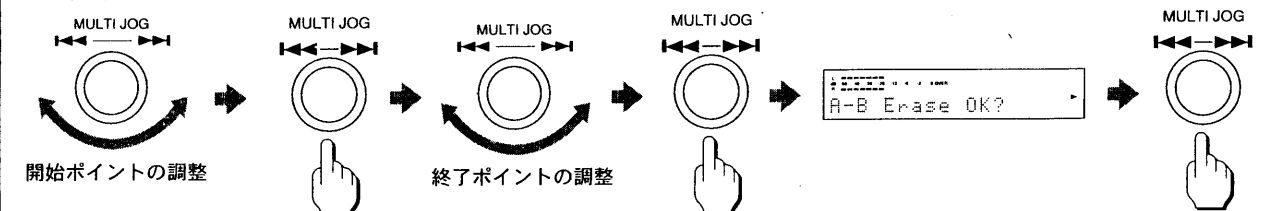
6 消去を確定する

消去した結果が繰り返し再生されるので、良ければマルチジョグを押します。



消去ポイントを微調整するには

手順6でマルチジョグを回せば消去ポイントの微調整ができます。

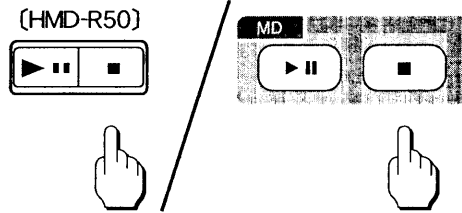


曲を消去する(つづき)



全曲を消去するには (オールイレース)

1 MD停止状態で操作します



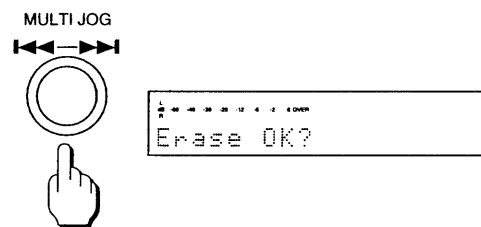
2 エディット(編集)モードにする



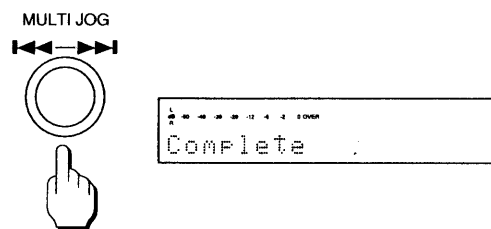
3 全曲消去モードを選ぶ



4 全曲消去確認



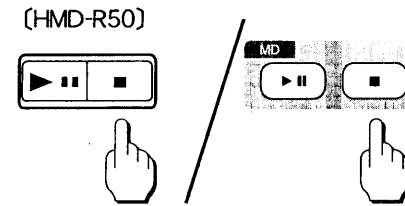
5 全曲消去実行



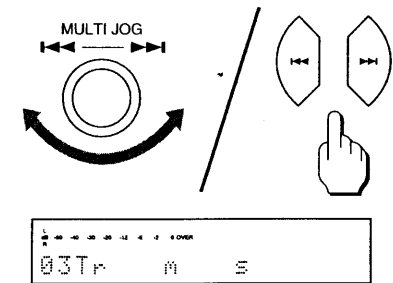
・ 曲を移動する(ムーブ)



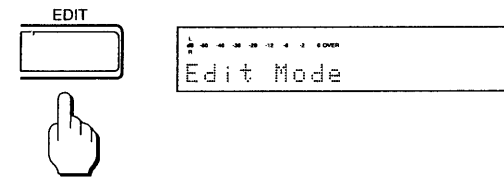
1 MD停止状態で操作します



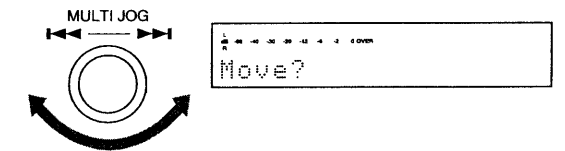
2 移動したい曲を選ぶ



3 エディット(編集)モードにする



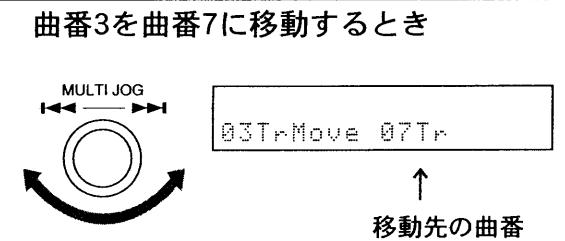
4 ムーブ(曲移動)モードを選ぶ



5 移動操作開始



6 移動先の曲番を選ぶ



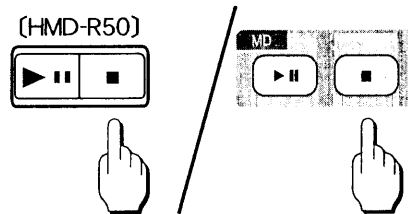
7 曲移動実行



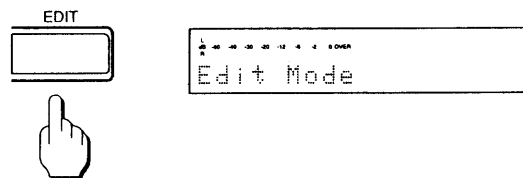
・ 曲を並べ替える (プログラムムーブ)



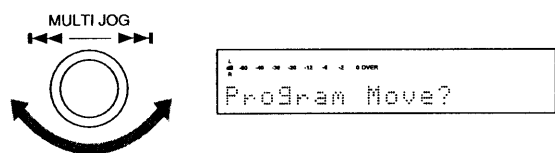
1 MD停止状態で操作します



2 エディット(編集)モードにする



3 プログラムムーブ(並べ替え)を選ぶ

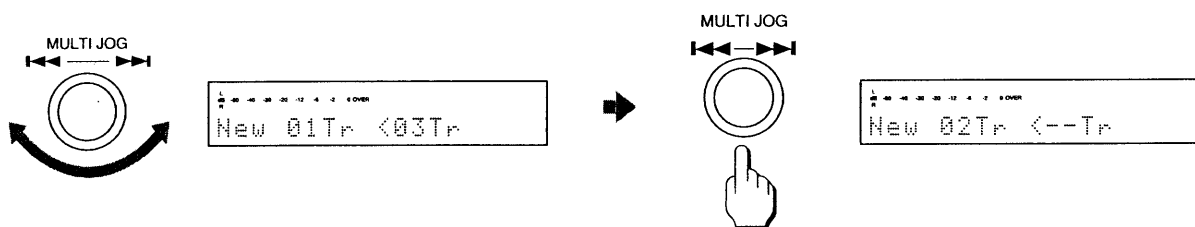


4 プログラムモードにする



5 曲番をプログラムする

新しい曲順の1曲目から順にプログラムしていきます。

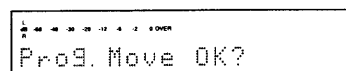


例えば、現在3曲目の曲を1曲目にしたときは「3」と指定します。

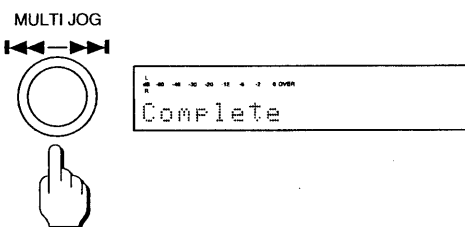
1曲目に3曲目がプログラムされて、2曲目の入力モードになります。

6 手順5を繰り返してプログラムする

全曲プログラムし終わると下図の表示になります。途中でプログラムを打ち切る(最初の方だけプログラムする)ときはマルチジョグつまみを押します。



7 並べ替えの実行



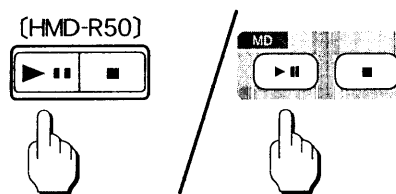
注意

- 同じ曲を2回以上プログラムすることはできません。
- プログラムした以外の曲は、プログラムした曲の後ろに並べ替えられます。

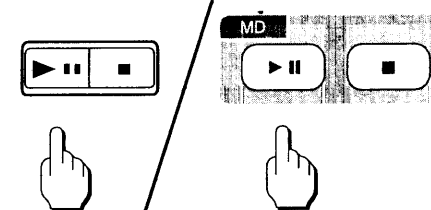
・ 曲を分割する (ディバイド)



1 分割する曲を演奏する



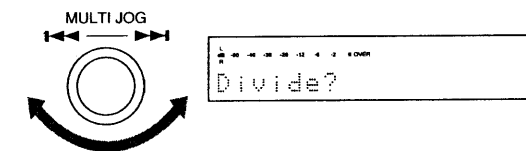
2 分割したいところで演奏を一時停止する



3 エディット(編集)モードにする

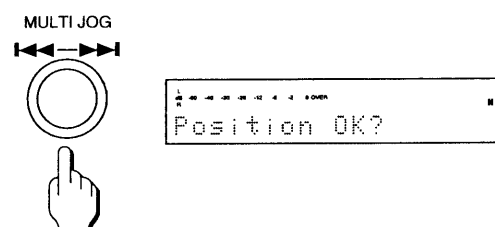


4 ディバイド(曲分割)モードを選ぶ

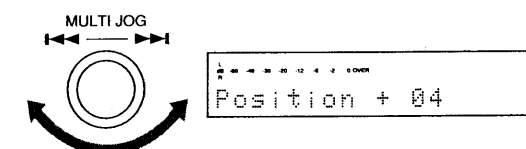


5 分割した結果を確認する

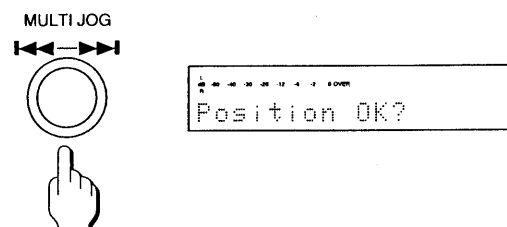
分割した結果が繰り返し再生されます。



6 分割ポイントを微調整する



7 分割ポイントを確定する



8 曲分割実行

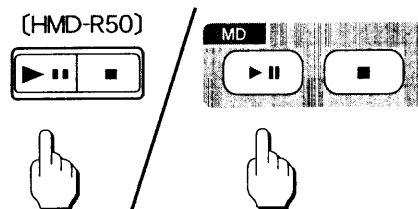


・ 曲をつなげる(コンバイン)

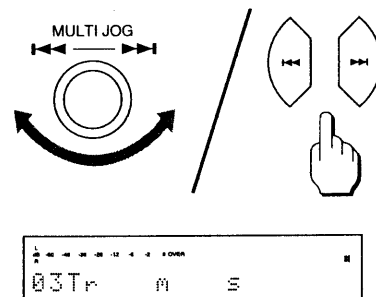


例：2曲目と3曲目をつなげる場合

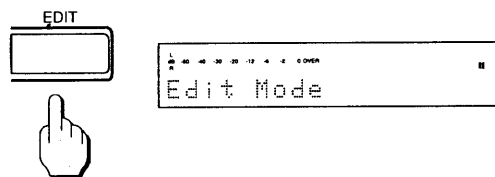
1 MD停止状態で操作します



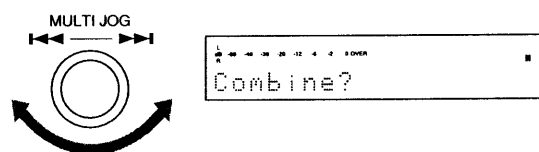
2 つなげたい2曲の後の方の曲を選ぶ



3 エディット(編集)モードにする

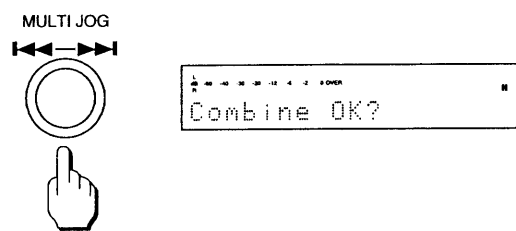


4 コンバイン(曲結合)モードを選ぶ

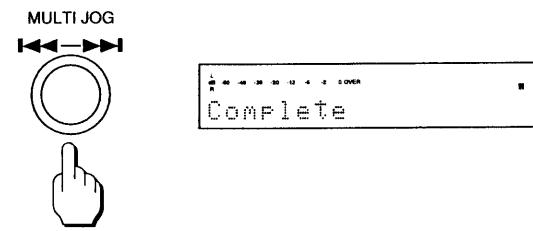


5 つなげた結果を確認する

「つなぎめ」の部分が繰り返し再生されます。



6 曲結合実行



注意

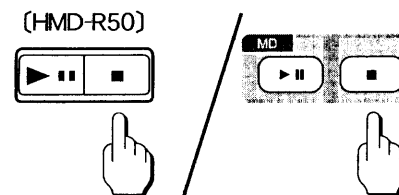
つなげられるのは連続した曲だけです。離れた曲をつなげたいときは、あらかじめ曲を連続した順に移動してからつなげてください。

次のような曲はつなぐことはできません

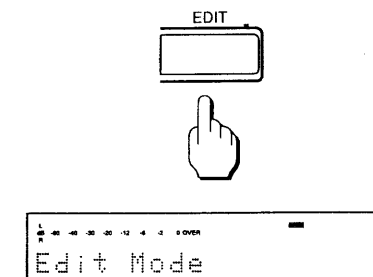
- ステレオモードで録音された曲とモノラルモードで録音された曲
- デジタル録音された曲とアナログ録音された曲

・ 直前のMD編集を取り消す(アンドゥ)

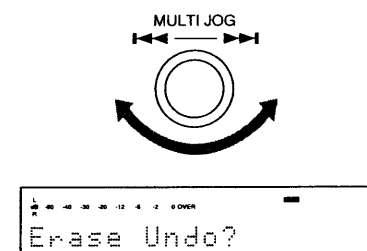
1 MD停止状態で操作します



2 エディットモードにする

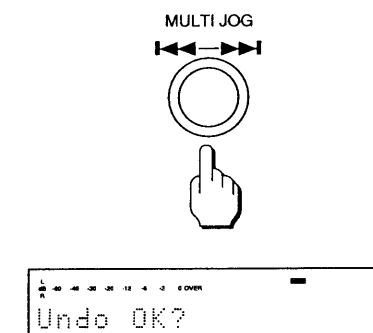


3 アンドゥ(編集取消)モードを選ぶ

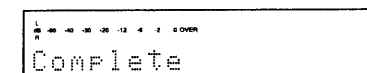
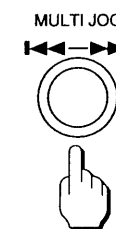


この部分は直前の編集操作によって変わります。

4 取消し確認メッセージ



5 編集取消し実行



・ 表示メッセージ

本機では、使用中に状況に応じて表示部にメッセージが表示されることがあります。表示されるメッセージの意味を下の表に示します。

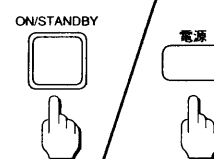
メッセージ	意味
TOC Reading	TOC読み込み中です。
Blank Disc	ディスクには何も録音されていません。
Complete	編集が完了しました。
Copy Prohibit	SCMS (Serial Copy Management System) により、この音源のデジタルコピーは禁止されています。
Digital Unlock	デジタル録音中に表示され、デジタル入力ジャックの接続不良等のために信号が適正に入力されていないことを示します。
Disc Full	ディスクの残り時間がありません。ディスクの255のトラック全部が録音されています。
Impossible	編集作業ができないことを示します。
No Name	タイトルが入力されていないことを示します。
No Track	ディスクにはタイトルが入力されていますが、曲はありません。
Playback Only	演奏専用MDで録音や編集をしようとすると、このメッセージが表示されます。
Protected	ディスクは書き込み保護されています。
Name Full	ディスクまたはトラックファイルに100個の文字がすでに入力されています。 ディスクタイトルおよびトラックタイトルとして約1700個の文字がすでに入力されています。
Can't REC	衝撃・振動やディスクの傷のために正しく録音できませんでした。

・ タイマー再生／録音のしかた

本機のタイマーは毎日同じ時刻に再生を行うエブリデイタイマー、または予約した時刻に一回だけラジオを録音するワンスタイマーとして使用することができます。

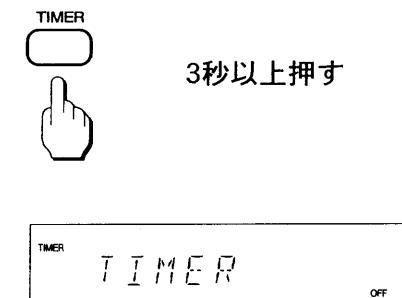
- タイマーを設定する前に使う音源に合わせて準備します。
 CD ----- ディスクをセットしておきます。
 TAPE ----- テープをセットしておきます。録音する時は録音できるテープをセットしておきます。
 MD ----- MDディスクをセットしておきます。録音する時は録音できるMDディスクをセットし、入力切換スイッチを「ANALOG」にしておきます。
 TUNER --- 放送局をプリセットしておいてください。(「放送局をプリセットをする」18ページ参照)
- たとえばタイマー開始時刻をAM(午前)8時15分、終了時刻をAM(午前)9時15分に合わせるには。

1 電源スタンバイ状態にする

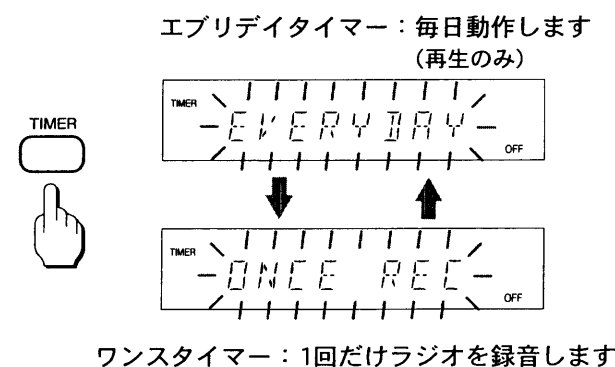


・ 節電待機状態からは操作できません。

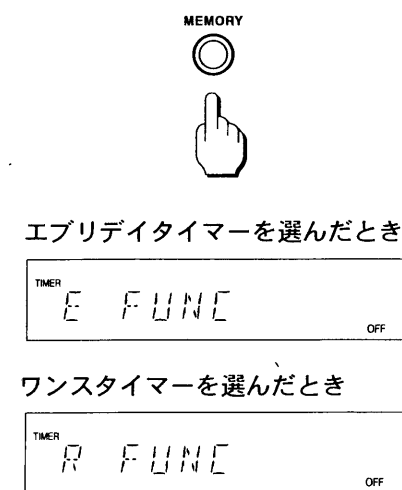
2 タイマー設定モードにする



3 タイマーの種類を選ぶ

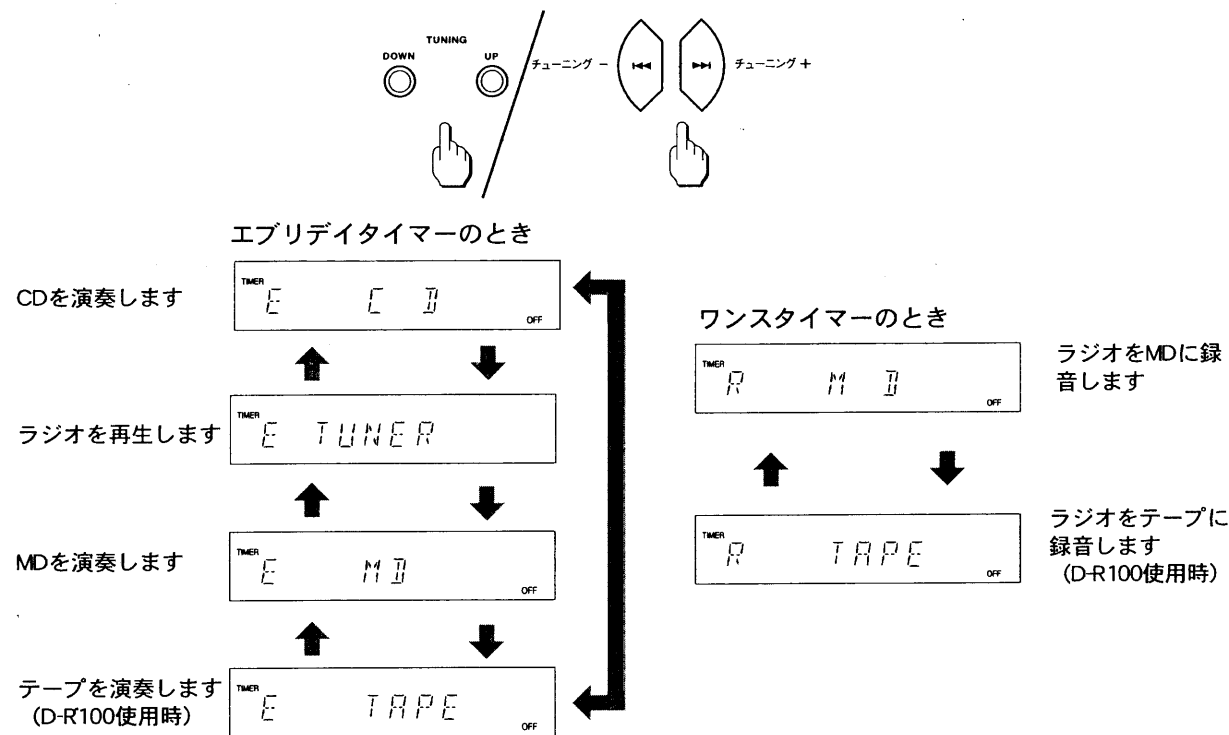


4 タイマーの種類を決定する

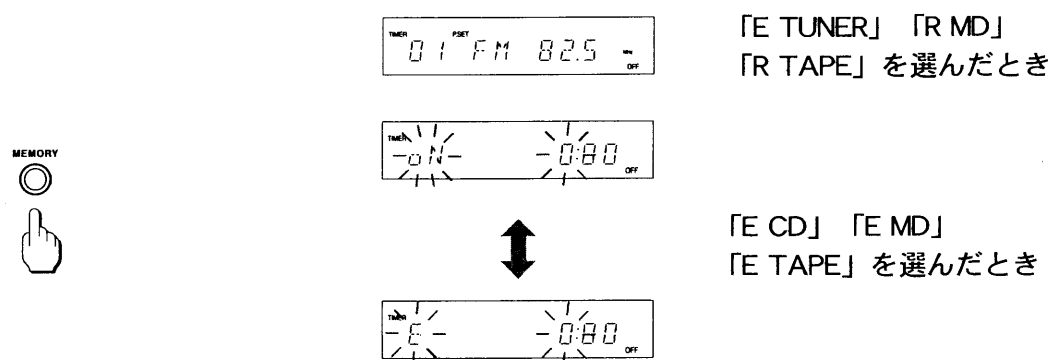


タイマー再生/録音のしかた (つづき)

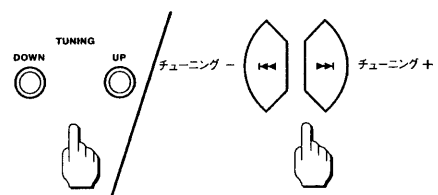
5 動作モードを選ぶ



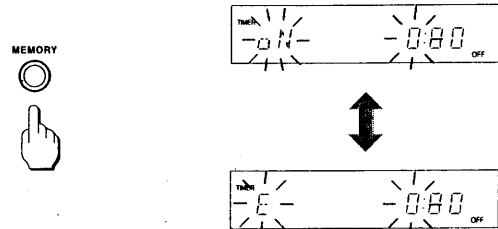
6 動作モードを決定する



7 放送局を選ぶ (「E TUNER」 「R MD」 「R TAPE」の場合のみ)

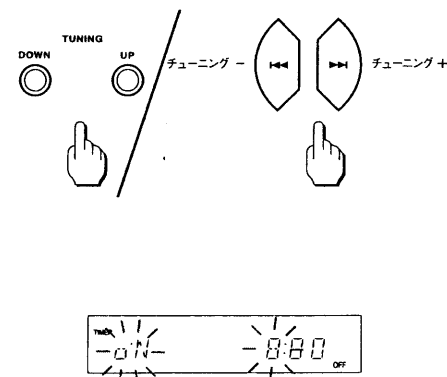


8 放送局を決定する (「E TUNER」 「R MD」 「R TAPE」の場合のみ)

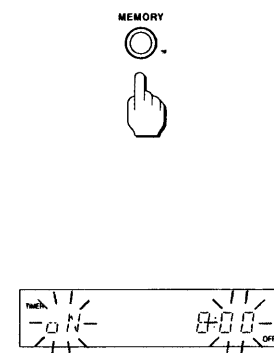


タイマー再生/録音のしかた

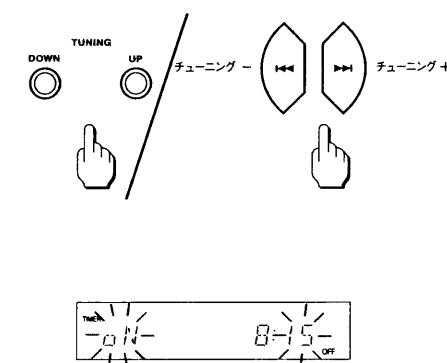
9 開始時刻の「時」を合わせる



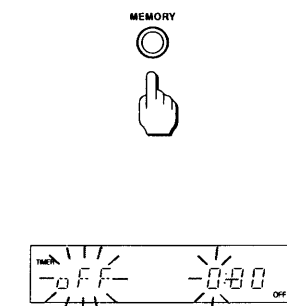
10 開始時刻の「時」を決定する



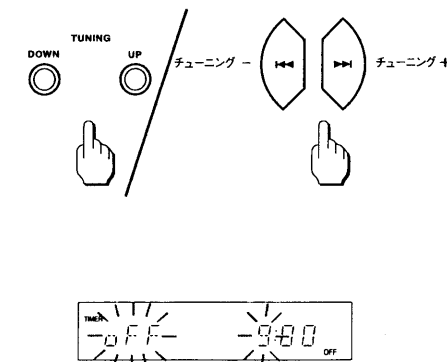
11 開始時刻の「分」を合わせる



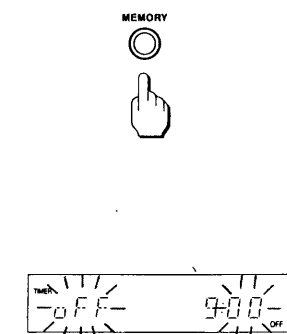
12 開始時刻の「分」を決定する



13 終了時刻の「時」を合わせる

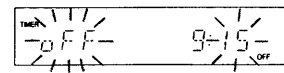
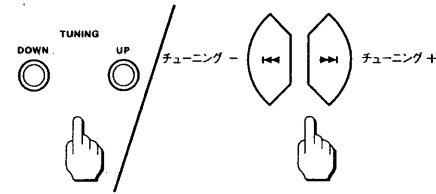


14 終了時刻の「時」を決定する



タイマー再生/録音のしかた (つづき)

15 終了時刻の「分」を合わせる

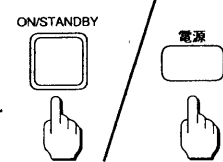


16 終了時刻の「分」を決定する



設定した内容が順次表示された後、
タイマーがセットされます。
(○マークが点灯します。)

17 電源を切る



設定した時間に自動的に電源が入ります。

タイマーセットを解除するには/再びセットするには



TIMERボタンを押して○表示を消灯させると
タイマーセットは解除されます。

もう一度TIMERボタンを押して○表示を点灯
させると前回と同じ内容でタイマーセット
できます。

ご注意

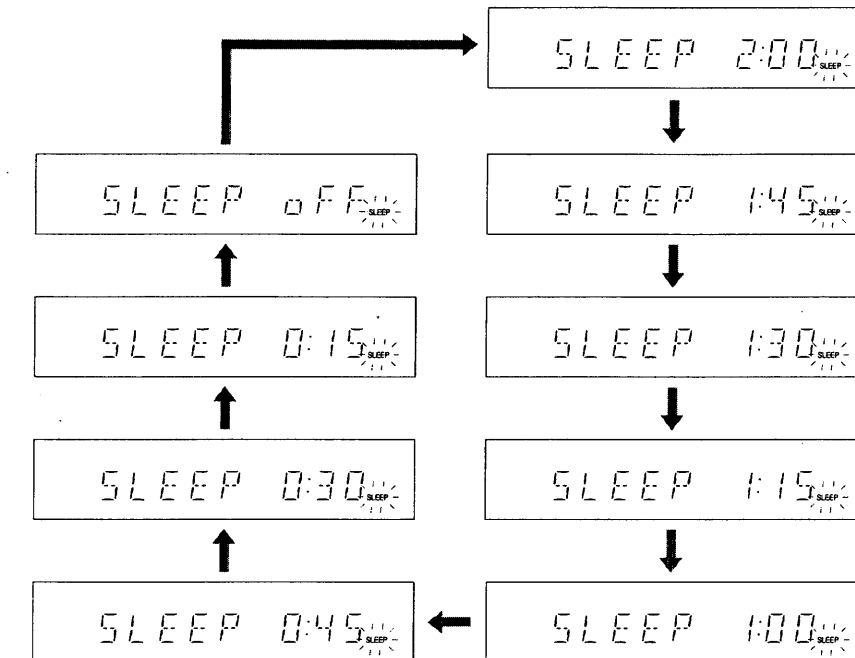
- ・タイマーがセットされているときは節電機能 (エコモード) ははたらきません。
- ・留守録 (そばに人がいないで録音するとき) では音量を小さくしてご使用ください。
- ・留守録するときは、先頭部分が欠けるのを防止するため、1分早く設定することをお勧めします。

・スリープタイマーの使いかた (リモコン操作のみ)

スリープタイマーはセットした動作時間が過ぎると自動的に電源が切れます。聴きながらおやすみになるときなどにお使いください。

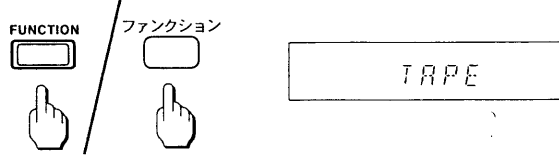
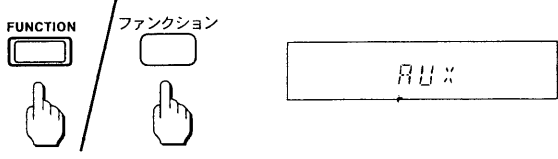


- ・スリープタイマー動作中は「SLEEP」表示が点灯しています。
- ・残り時間を確認するには、スリープボタンを1回押します。

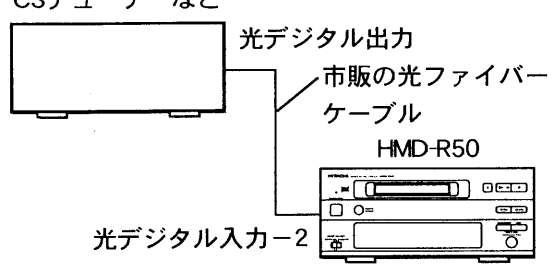
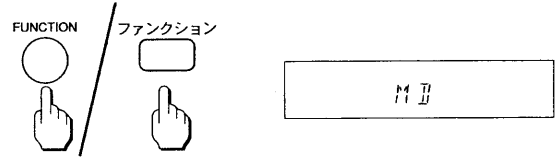
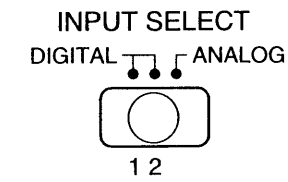
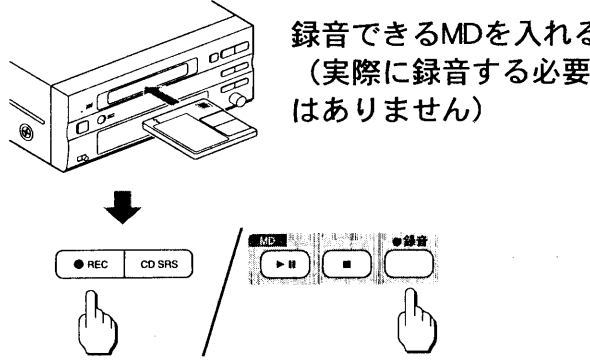


外部機器の音を聴く

アナログ入力の音を聴くには

<p>テープ入力を聴く</p>	<p>ライン入力を聴く</p>
 <p>テープ入力端子からの音が聴けます</p>	 <p>ライン入力端子からの音が聴けます</p>

デジタル入力の音を聴くには

<p>1 デジタル入力を接続する</p> <p>MDデッキHMD-R50の光デジタル入カ-2に接続します。</p> <p>CSチューナーなど</p> 	<p>2 ファンクションをMDにする</p> 
<p>3 光デジタル入カ-2を選ぶ</p> 	<p>4 録音待機状態にする</p> <p>録音できるMDを入れる (実際に録音する必要はありません)</p> 
<p>5 再生を始める</p> <p>接続した機器の再生を始めます。</p> <p>・本機はサンプリングレートコンバーターを内蔵していますので、サンプリング周波数32kHz、44.1kHz、48kHzのデジタル信号を再生できます。</p>	

仕様

・CDレシーバー (HCU-R30)

レシーバー部
受信周波数帯

実用最大出力
入力/出力端子

CDプレーヤー部

ワウ・フラッタ
サンプリング周波数

タイマー部

システム
表示形式
タイマー精度

電源
消費電力
最大外形寸法 (幅×高さ×奥行)
質量 (重量)

・MDレコーダ (HMD-R50)

ワウ・フラッタ
サンプリング周波数
記録方式
電源
消費電力
最大外形寸法 (幅×高さ×奥行)
質量 (重量)

・スピーカー (HS-R30)

システム
使用スピーカー
インピーダンス
最大外形寸法 (幅×高さ×奥行)
質量 (重量)

FM : 76.0 MHz~90.0 MHz
AM : 522 kHz~1629 kHz
30 W + 30 W (6Ω, T.H.D. 10% EIAJ)
TAPE入出力端子、AUX入力端子、MD入出力端子、
サブウーファー出力 (モノラル) 端子、
3.5mmヘッドホン端子

測定限界以下
44.1 kHz

デジタル水晶時計
24時間方式
月差60秒以内

AC 100 V、50/60 Hz
60 W (エコモード時 : 0.8 W)
210×120×325mm (足、操作ボタンおよび端子を含む)
4.4 kg

測定限界以下 (±0.001% W_{peak}以内)
44.1 kHz
磁界変調オーバーライト方式
AC 100 V、50/60 Hz
14 W
210×96.5×320mm (足、操作ボタンおよび端子を含む)
2.6 kg

2ウェイ防磁形 (EIAJ) バスレフ方式
低音用 : 10cm 1個、高音用 : 5cm 1個
6Ω
150×275×227mm
2.9 kg
『防磁形(EIAJ)』は(社)日本電子機械工業会(EIAJ)の技術基準に適合したスピーカーシステムです。

仕様 (つづき)

・リモコン (RB-F300)

リモコン方式
電源
最大外形寸法 (幅×高さ×奥行)
質量 (重量)

赤外線パルス
単3形乾電池2個
54×27×172.5mm
145 g (乾電池を含む)

・付属品

FMアンテナ、AMループアンテナ、
リモコン(RB-F300)、単3形乾電池2個 (動作確認用)、
スピーカーコード 2本、オーディオ接続コード 2本、
光ファイバーケーブル 1本、システムコード 1本

この仕様は、性能向上のため予告なく変更することがあります。

本機はドルビーラボラトリーライブラリセンシングコーポレーションの米国および外国特許に基づく許諾製品です。

・故障かな？と考える前に

正常に動作しない場合は、下表により点検してみてください。それでも具合が悪い場合は、ご自分で修理なさらず、お買い求めの販売店にご連絡ください。
なおアフターサービスについては56ページをご覧ください。

	症 状	原因と思われるところ	適切な処置
CD 関係	演奏がはじまらない	1. CDの位置がズレている。 2. CDを表裏逆になっている。 3. 本機が露付き状態になっている。 4. CDにキズ、汚れがある。	1. CDを正しくセットしなおす。 2. レーベル面を上に乗せる。 3. 1～2時間待ってから操作する。 4. 汚れを拭きとってセットする。
	特定の箇所が正しく演奏されない	1. CDに汚れがある。 2. CDにキズが付いている。	1. 汚れを拭きとってセットする。 2. サーチボタンを押し続けてキズのある箇所をとばす。
MD 関係	操作できない	1. 「TOC Reading」または「UTDC Writing」が表示されている。	1. 表示が消えてから操作する。
	録音ができない	1. MDが誤消去防止状態になっている。 2. 再生専用MDに録音しようとしている。 3. デジタルダビングしたソースを再びデジタルダビングしようとしている。	1. 誤消去防止用の穴を閉じる。 2. 録音可能なMDに交換する。 3. デジタルダビングを繰り返すことはできません。
	演奏がはじまらない	1. 本機が露付き状態になっている。 2. MDにキズ、汚れがある。	1. 1～2時間待ってから操作する。 2. MDを交換する。
	特定の箇所が正しく演奏されない	1. MDにキズ、汚れがある。	1. サーチボタンを押し続けてキズ、汚れのある箇所をとばす。
その他	電源が入らない	1. 電源コードがコンセントに確実に接続されていない。	1. 確実に接続する。
	スピーカーから音が出ない	1. 音量調節つまみが最小になっている。 2. ヘッドホンが接続されている。 3. スピーカーコードの接続が不完全。 4. ミュートがかかっている。	1. つまみを調節する。 2. ヘッドホンのプラグを抜く。 3. 正しく接続する。 4. リモコンのミュートボタンを押す。
	タイマーが動作しない	1. 現在時刻がセットされていない。 2. 本機の電源が入っている。	1. 現在時刻をセットする。 2. 電源を切る。
リモコン 関係	操作できない、または正常に動作しない	1. 乾電池が正しく挿入されていない。 2. 乾電池が消耗している。 3. リモコンと本体との距離が離れすぎている。 4. リモコンの受光部に強い光(インバーター蛍光灯や直射日光など)が当たっている。	1. 正しく挿入する。 2. 2本とも新しい乾電池に交換する。 3. 本体に近づいて操作する。 4. 受光部に強い光が当たらないようにする。

保証とアフターサービス

(必ずお読みください)

■保証について

- この製品は保証書付きです。
保証書は、販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますので、記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げの日から1年間です。
なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
- 保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。当社は、販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。

■補修用性能部品の保有期間について

ステレオの補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後8年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■修理を依頼されるときは

本機が正常に動作しないときは、ご自分で修理なされないで、お買い求めの販売店にご相談ください。アフターサービスをお申し付けいただくときは、次のことをお知らせください。

- ① 形名：AX-F100
- ② 症状：できるだけくわしく
- ③ 道順：付近の目印も

■転居されるときは

ご転居により、お買い求めの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電取扱店を紹介させていただきます。

■アフターサービスなどでお困りの場合は

アフターサービスについてご不明の場合、その他お困りの場合は、お買い上げの販売店か別紙（黄色用紙、「ご相談窓口一覧表」）のご相談窓口にお問い合わせください。

著作権について

あなたがラジオ放送やレコード、録音物などから録音したものは個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

音楽の作詞、作曲などは一般に著作権法によって保護されていますが、放送やレコード、録音物（ミュージックテープなど）の作品も同じように著作権法により保護されています。従って音楽そのものやレコード、録音物あるいはそれから録音したテープなどの使用には一定の制限があります。

- したがって、それらから録音したテープを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利（店のBGMなど）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他の手続きについては、「日本音楽著作権協会」(JASRAC)の本部または最寄りの支部におたずねください。

社団法人 日本音楽著作権協会 (JASRAC) 〒105 東京都港区西新橋1-7-13 TEL (03) 3502-6551 (大代表) FAX (03) 3508-8183

- 北海道支部 (業務地域 北海道)
〒060 札幌市中央区北1条西3-2 大和銀行札幌ビル
TEL (011) 221-5088 (代表) FAX (011) 221-1311
- 盛岡支部 (業務地域 岩手・青森・秋田)
〒020 盛岡市盛岡駅前通15-20 ニッセイ盛岡駅前ビル
TEL (019) 652-3201 (代表) FAX (019) 652-4010
- 仙台支部 (業務地域 宮城・山形・福島)
〒980 仙台市青葉区中央2-1-7 仙台三和ビル
TEL (022) 264-2266 (代表) FAX (022) 265-2706
- 長野支部 (業務地域 長野)
〒380 長野市南千歳2-12-1 日本団体生命長野ビル
TEL (026) 225-7111 (代表) FAX (026) 223-4767
- 大宮支部 (業務地域 埼玉・栃木・群馬・新潟)
〒331 大宮市桜木町1-7-5 ソニックシティビル
TEL (048) 643-5461 (代表) FAX (048) 643-3567
- 上野支部 (業務地域 東京都23区の城東地区・茨城)
〒110 東京都台東区上野2-7-13 交通公社・安田火災上野共同ビル
TEL (03) 3832-1033 (代表) FAX (03) 3832-1040
- 東京支部 (業務地域 東京都23区の東部・千葉)
〒104 東京都中央区銀座1-15-6 共同ビル銀座1丁目
TEL (03) 3562-4455 (代表) FAX (03) 3562-4457
- 西東京支部 (業務地域 東京都23区の西部)
〒160 東京都新宿区新宿5-17-5 新宿中央ビル
TEL (03) 3232-8301 (代表) FAX (03) 3232-7798
- 東京イベント・コンサート支部 (業務地域 東京都・千葉・茨城・山梨)
※コンサートや、イベント等における演奏・上映等
〒160 東京都新宿区新宿5-17-5 新宿中央ビル
TEL (03) 5286-1671 (代表) FAX (03) 5286-1670
- 立川支部 (業務地域 東京都の市・郡部・山梨)
〒190 立川市曙町2-22-20 立川センタービル
TEL (0425) 29-1500 (代表) FAX (0425) 29-1515
- 横浜支部 (業務地域 神奈川県)
〒231 横浜市中区本町1-3 綜通横浜ビル
TEL (045) 662-6551 (代表) FAX (045) 662-6548
- 静岡支部 (業務地域 静岡県)
〒420 静岡市御幸町11-30 エクセルワード静岡ビル
TEL (054) 254-2621 (代表) FAX (054) 254-0285
- 中部支部 (業務地域 愛知・岐阜・三重)
〒450 名古屋市中村区名駅2-45-7 松岡ビル
TEL (052) 583-7590 (代表) FAX (052) 583-7594
- 北陸支部 (業務地域 石川・富山・福井)
〒920 金沢市香林坊2-3-25 金沢日産生命ビル
TEL (0762) 21-3602 (代表) FAX (0762) 21-6109
- 京都支部 (業務地域 京都・滋賀・奈良)
〒600 京都市下京区四条通烏丸東入ル長刀鉾町8 京都三井ビル
TEL (075) 251-0134 (代表) FAX (075) 251-0414
- 大阪支部 (業務地域 大阪南部・和歌山)
〒542 大阪市中央区南船場4-3-11 豊田ビル
TEL (06) 244-0351 (代表) FAX (06) 244-1970
- 大阪北支部 (業務地域 大阪北部)
〒542 大阪市中央区南船場4-3-11 豊田ビル
TEL (06) 244-7077 (代表) FAX (06) 244-1970
- 神戸支部 (業務地域 兵庫)
〒650 神戸市中央区海岸通6番地 建隆ビルII
TEL (078) 322-0561 (代表) FAX (078) 322-0975
- 中国支部 (業務地域 広島・岡山・山口・鳥取・島根)
〒730 広島市中区胡町4-21 朝日生命広島胡町ビル
TEL (082) 249-6362 (代表) FAX (082) 246-4396
- 四国支部 (業務地域 香川・徳島・高知・愛媛)
〒760 高松市寿町2-2-10 住友生命高松寿町ビル
TEL (0878) 21-9191 (代表) FAX (0878) 22-5083
- 九州支部 (業務地域 福岡・大分・佐賀・長崎・熊本)
〒812 福岡市博多区博多駅前2-1-1 福岡朝日ビル
TEL (092) 441-2285 (代表) FAX (092) 441-4218
- 鹿児島支部 (業務地域 鹿児島・宮崎)
〒892 鹿児島市東千石町1-38 アイムビル
TEL (099) 224-6211 (代表) FAX (099) 224-6106
- 那覇支部 (業務地域 沖縄)
〒900 那覇市久茂地1-3-1 久茂地セントラルビル
TEL (098) 863-1228 (代表) FAX (098) 866-5074

メモ

メモ